

第3期黒潮町障がい者計画・第5期黒潮町障がい福祉計画・

黒潮町障がい児福祉計画

調査結果報告書

平成29年（2017年）11月

黒 潮 町

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査設計と回収結果	2
4. 報告書の見方	2
II. 18歳以上調査の結果	1
1. 本人の状況等について	3
2. 社会活動について	14
3. 福祉手当について	17
4. 相談や情報について	19
5. 外出について	29
6. 就労について	35
7. 通院状況について	41
8. 防災について	43
9. 福祉サービスや支援について	49
10. ご家族について	54
III. 保護者調査の結果	60
1. 本人の状況等について	48
2. 発育上の心配ごと等について	51
3. 福祉について	54
4. 教育や放課後等のことについて	55
5. 外出について	56
6. 将来の暮らしについて	56
7. 防災について	57
8. 福祉サービスや支援について	58
9. ご家族や保護者のことについて	61

I. 調査の概要

1. 調査目的

黒潮町では、平成 24 年 3 月に「第 2 期黒潮町障がい者計画」、平成 27 年 3 月に「第 4 期黒潮町障がい福祉計画」を策定し、障がい者施策の総合的・計画的な推進に努めてきたところですが、この間、国の法制度の整備をはじめ、障がい者（児）を取り巻く状況は大きく変化しています。両計画が平成 29 年度末をもって終了することから、国の動向や障がい者の生活実態及びニーズを見極め、障がい者支援のさらなる充実を目指すとともに、本町における障がい福祉サービスの基盤整備の目標と見込みを示すものとして、「第 3 期黒潮町障がい者計画・第 5 期黒潮町障がい福祉計画・黒潮町障がい児福祉計画」を策定することとなりました。

この計画の策定に先立ち、障がい者（児）の生活の現状やニーズを把握し、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査内容

(1) 18 歳以上調査

- 本人の状況等について
- 社会活動について
- 福祉手当について
- 相談や情報について
- 外出について
- 就労について
- 通院状況について
- 防災について
- 福祉サービスや支援について
- ご家族について
- 自由意見

(2) 18 歳未満調査

- 本人の状況等について
- 発育上の心配ごと等について
- 福祉について
- 教育や放課後等のことについて
- 外出について
- 将来の暮らしについて
- 防災について
- 福祉サービスや支援について
- ご家族や保護者のことについて
- 自由意見

3. 調査設計と回収結果

調査期間	平成 29 年 10 月 13 日（金）～11 月 2 日（木）			
調査方法	郵送による配布・回収			
調査対象	障害手帳をお持ちの方や福祉サービスを利用されている方			
	18 歳以上の方		保護者	
調査票配布数	430 件	身体：★件	35 件	身体：★件
		知的：★件		知的：★件
		精神：★件		精神：★件
				障害児通所利用者：★件
有効回収数	215 件	身体：192 件（延べ）	17 件	身体：3 件
		知的：16 件（延べ）		知的：5 件
		精神：7 件（延べ）		精神：1 件
		不明：11 件		
有効回収率	50.0%		48.6%	

4. 報告書の見方

分析結果を見る際の留意点は、以下のとおりとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を示しています。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0% とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA と記載し、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 性別を答えていない方が 3 名いることから、男性・女性の合計人数は全体の人数と合致していません。

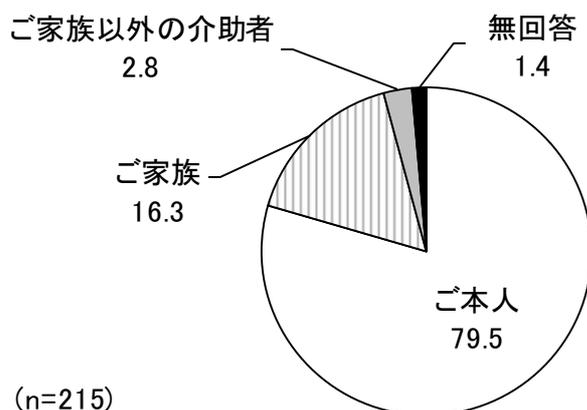
Ⅱ. 18歳以上調査の結果

1. 本人の状況等について

(1) 回答者

問1 アンケートに回答していただくのはどなたですか。(1つに○印)

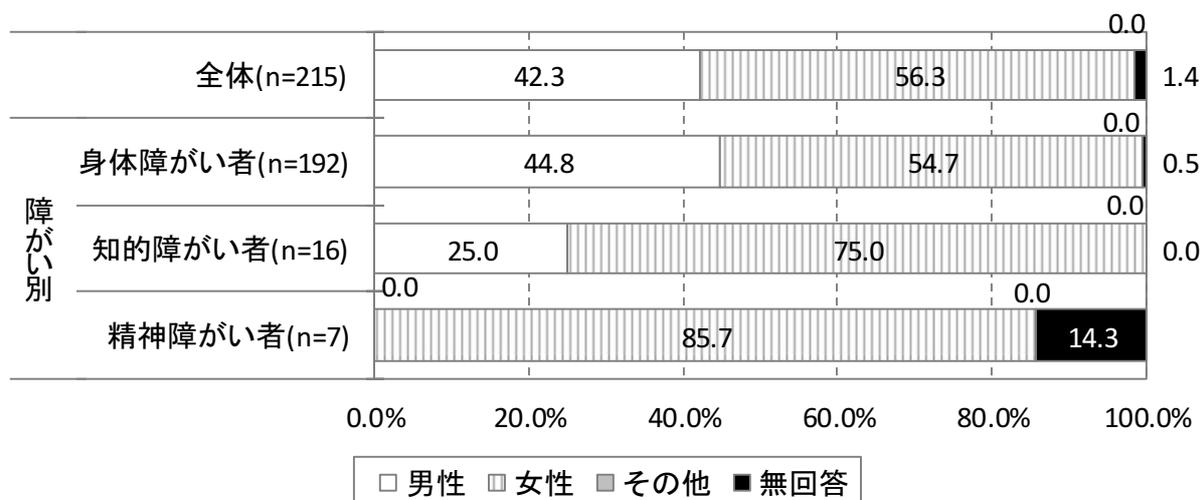
調査の回答者は、「ご本人」が79.5%を占め、次いで「ご家族」16.3%となっている。



(2) 性別

問2 あなたの性別はどちらですか。(1つに○印)

本人の性別は、「男性」42.3%より「女性」56.3%に多くなっている。
障がい別にみると、いずれも男性より女性が多く、“精神障がい者”では回答者は全員「女性」となっている。

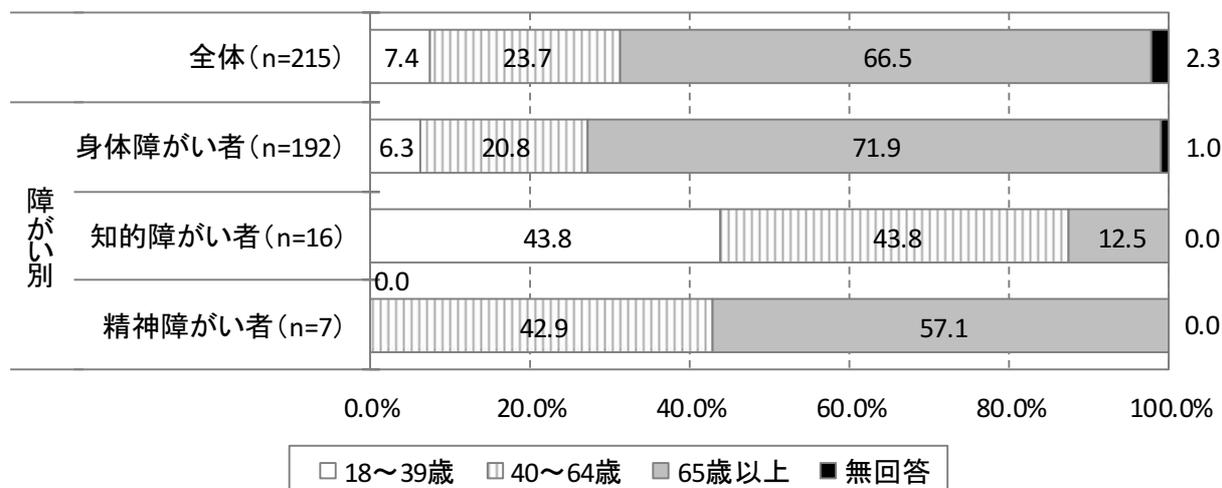


(3) 年齢

問3 あなたの年齢は何歳ですか。(平成29年10月1日現在)

本人の平成29年10月1日時点の年齢をみると、「65歳以上」が66.5%で最も多く、次いで「40～64歳」23.7%、「18～39歳」7.4%となっており、65歳以上の方が約7割を占めている。

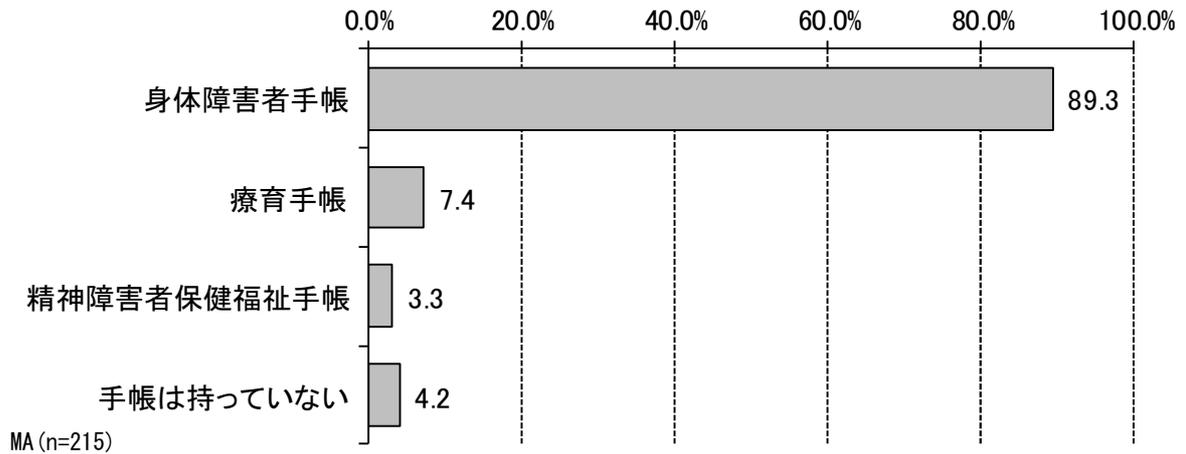
障がい別にみると、“身体障がい者”と“精神障がい者”では「65歳以上」、「知的障がい者」では「18～39歳」と「40～64歳」でともに最も多くなっている。



(4) 所持している障害者手帳について

問4 あなたは障害者手帳を持っていますか。(あてはまるものすべてに○印)

所持している障害者手帳については、「身体障害者手帳」が89.3%で最も多く、次いで「療育手帳」7.4%、「精神障害者保健福祉手帳」3.3%の順となっている。また「手帳は持っていない」は4.2%となっている。



(5) 身体障害者手帳の等級等

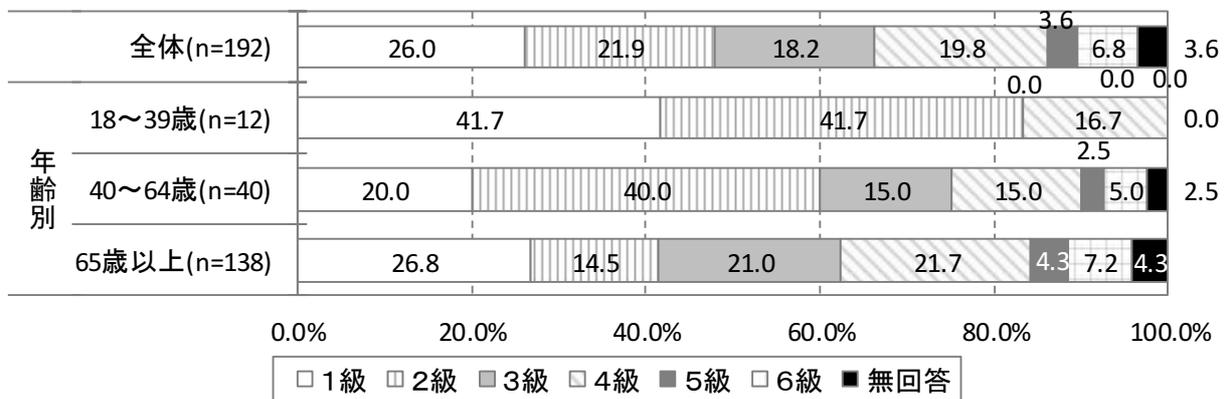
問4-1 あなたがお持ちの障害者手帳について、教えてください。
(あてはまるものすべてに○印)

① 身体障害者手帳の状況

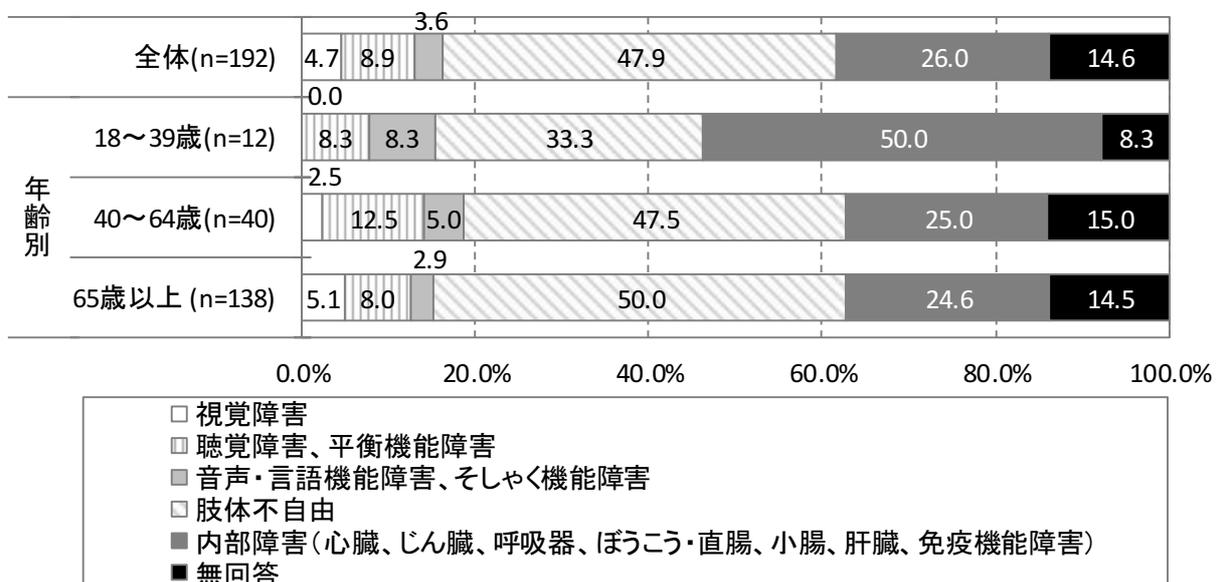
身体障害者手帳を持っている192人について等級をみると、「1級」が26.0%で最も多く、次いで「2級」21.9%、「4級」19.8%となっている。『重度(1級・2級)』『中度(3級・4級)』『軽度(5級・6級)』の割合は、47.9%、38.0%、10.4%であり、『重度』が多くなっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低いほど『重度』の方が多くなっている。

障がい部位については、「肢体不自由」が47.9%で最も多く、次いで「内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫機能障害)」26.0%の順となっている。

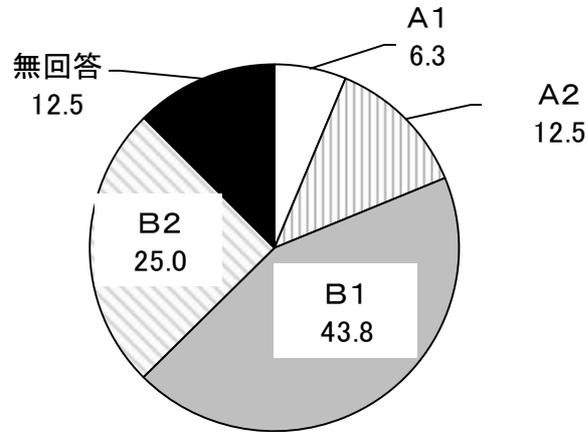


障がいの部位を年齢別にみると、“18~39歳”で「内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫機能障害)」、「40~64歳」と“65歳以上”で「肢体不自由」に最も多くなっている。



② 療育手帳の総合判定

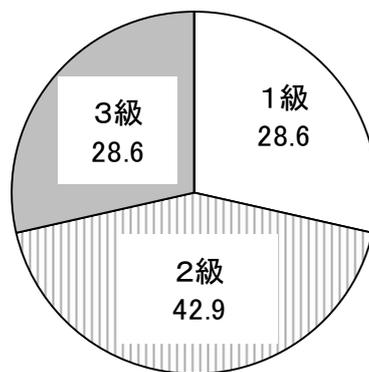
療育障害者手帳を持っている16人について等級をみると、「B1」が43.8%で最も多く、次いで「B2」25.0%、「A2」12.5%となっている。



(n=16)

③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳を持っている7人について等級をみると、「2級」が42.9%で最も多く、次いで「1級」、「3級」ともに28.6%となっている。



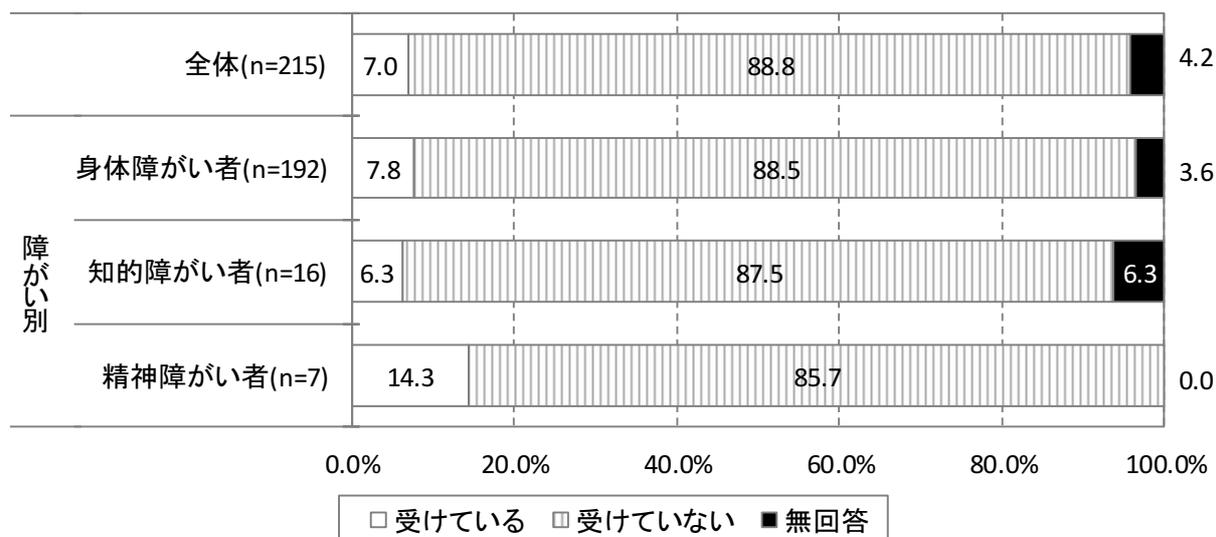
(n=7)

(6) 難病認定について

問5 あなたは、障害者手帳以外に難病（特定疾病）の認定を受けていますか。
（1つに○印）

難病の認定を「受けている」と答えた方は7.0%となっている。

障がい別にみると、“精神障がい者”で「受けている」が14.3%となっているが、その他ではいずれも10%未満である。



【病名】 ※一部抜粋

関節リウマチ	クローン病
特発性大腿骨頭壊死症	筋萎縮性側索硬化症(ALS)
脊髄小脳変性症	多発性硬化症／視神経脊髄炎

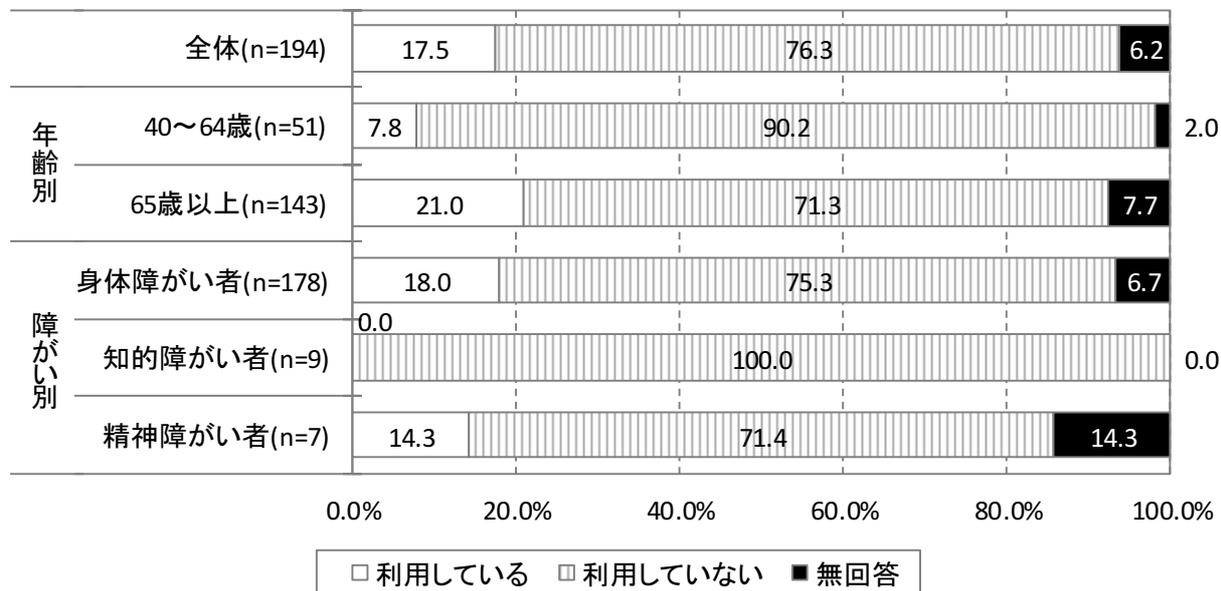
(7) 介護保険サービスの利用について

問6 現在、40歳以上の方にお伺いします。
あなたは、介護保険法によるサービスを利用されていますか。(1つに○印)

40歳以上の194人について、介護保険サービスの利用有無をみると、「利用していない」が76.3%、「利用している」は17.5%となっている。

年齢別にみると、65歳以上の高齢者では「利用している」が20%を超えており、40～64歳と比較すると約3倍となっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”で「利用している」が18.0%と最も多くなっている。



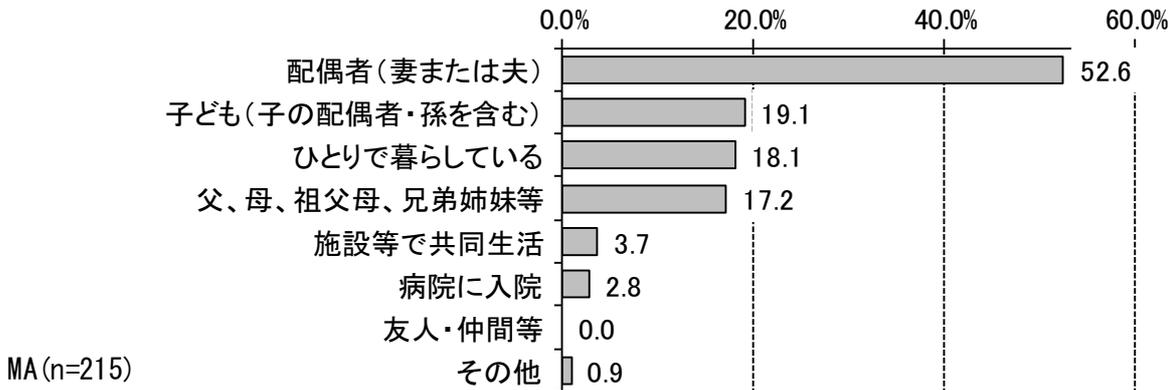
(8) 現在一緒に暮らしている人について

問7 現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。あなたからみた続柄で該当する方をお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

現在一緒に暮らしている人についてみると、「配偶者(妻または夫)」が52.6%で最も多く、次いで「子ども(子の配偶者・孫を含む)」19.1%、「ひとりで暮らしている」18.1%の順となっている。

年齢別にみると、18～39歳では「父、母、祖父母、兄弟姉妹等」が最も多く、40歳以上では「配偶者(妻または夫)」に最も多くなっており、他の年齢と比べると、65歳以上では「ひとりで暮らしている」と答えた方が約4人に1人となっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”では「配偶者(妻または夫)」が最も多く、“知的障がい者”と“精神障がい者”では「父、母、祖父母、兄弟姉妹等」に最も多くなっている。



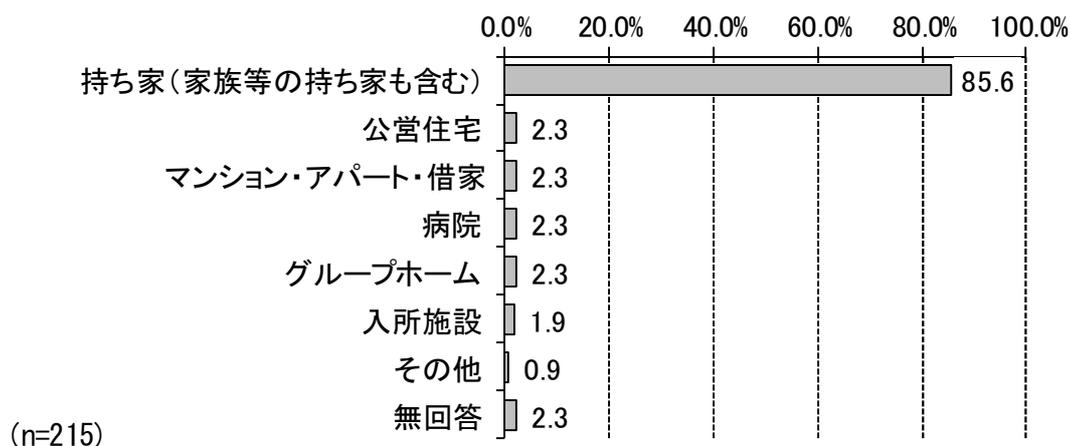
	全体 (n)	夫 配 偶 者 (妻 ま た は 夫)	兄 父 弟 姉 妹 等 祖 父 母	子 ど も (子 の 配 偶 者 ・ 孫 を 含 む)	友 人 ・ 仲 間 等	一 人 で 暮 ら し て	施 設 等 で 共 同 生 活	病 院 に 入 院	そ の 他
全体	215	52.6%	17.2%	19.1%	0.0%	18.1%	3.7%	2.8%	0.9%
年 齢 別	18～39歳	16	18.8%	75.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～64歳	51	51.0%	41.2%	19.6%	0.0%	7.8%	5.9%	2.0%
	65歳以上	143	58.0%	2.1%	21.0%	0.0%	23.8%	3.5%	3.5%
障 が い 別	身体障がい者	192	55.2%	14.1%	20.3%	0.0%	19.8%	2.6%	3.1%
	知的障がい者	16	6.3%	56.3%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%
	精神障がい者	7	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%

(9) 現在のお住まいについて

問8 あなたの現在のお住まい、あるいは暮らしている場所はどこですか。
(1つに○印)

現在の住まいについてみると、「持ち家（家族等の持ち家も含む）」が85.6%と大半を占めている。

年齢・障がい別にみても、いずれも圧倒的に「持ち家（家族等の持ち家も含む）」が多いことに違いはみられない。



		全体 (n)	も持ち家 も含む (家族等の 持ち家)	公営住宅	借家 マン ション ・ア パ ー ト ・	入 所 施 設	病 院	グ ル ー プ ホ ー ム	そ の 他	無 回 答
全体		215	85.6%	2.3%	2.3%	1.9%	2.3%	2.3%	0.9%	2.3%
年 齢 別	18～39歳	16	81.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%
	40～64歳	51	86.3%	2.0%	3.9%	2.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
	65歳以上	143	86.7%	2.8%	1.4%	2.1%	3.5%	1.4%	0.7%	1.4%
障 が い 別	身体障がい者	192	87.5%	2.1%	2.6%	1.0%	2.6%	1.6%	1.0%	1.6%
	知的障がい者	16	68.8%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	6.3%	6.3%
	精神障がい者	7	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%

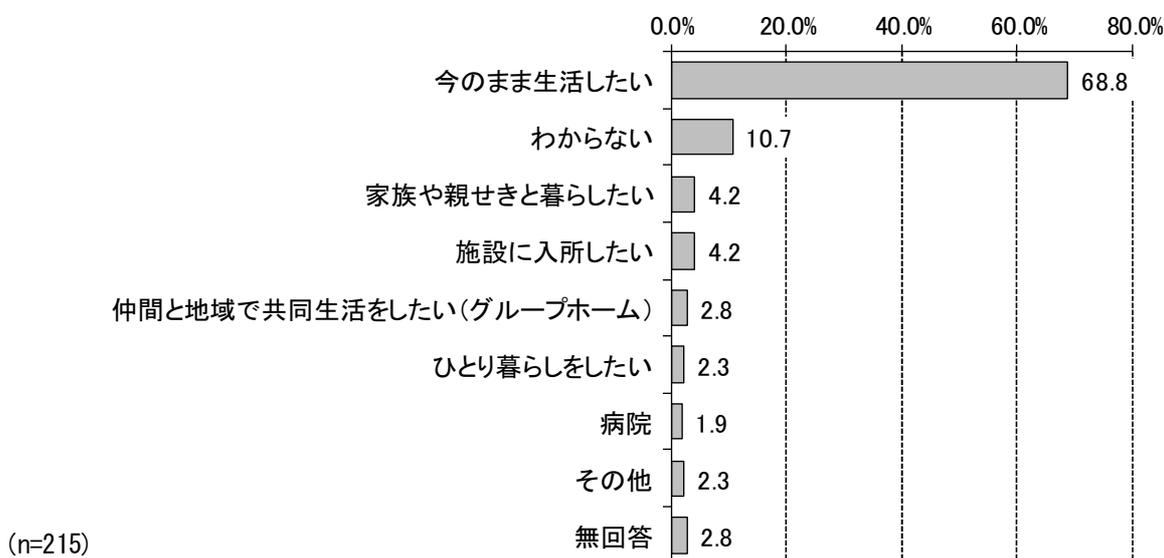
(10) 10年後の生活場所について

問9 あなたは、10年後は、どこで生活したいと思いますか。(1つに○印)

10年後に希望する生活場所についてみると、「今のまま生活したい」が68.8%で最も多く、次いで「わからない」10.7%となっており、その他の項目は5%以下となっている。

年齢・障がい別にみると、いずれも「今のまま生活したい」が多数を占めているものの、“18～39歳”で「家族や親せきと暮らしたい」が比較的多くなっている。

また、概ね年齢が低いほど「家族や親せきと暮らしたい」、「仲間と地域で共同生活をしたい(グループホーム)」と答えた方が多くなっている。



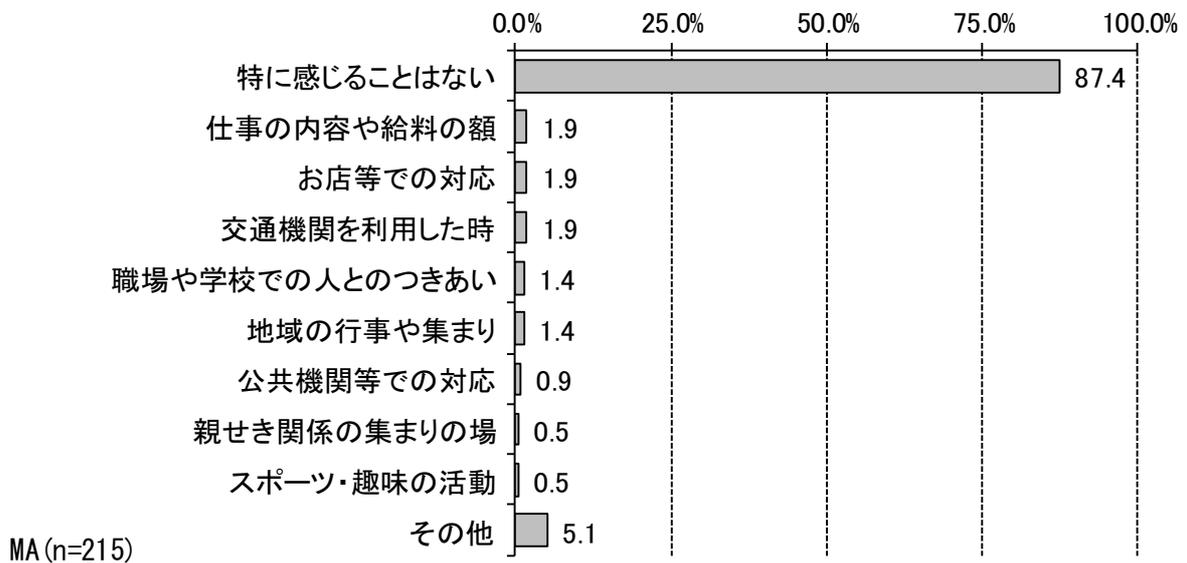
	全体 (n)	今のまま生活したい	ひとり暮らしをしたい	家族や親せきと暮らしたい	仲間と地域で共同生活をしたい(グループホーム)	施設に入所したい	病院	わからない	その他	無回答	
全体	215	68.8%	2.3%	4.2%	2.8%	4.2%	1.9%	10.7%	2.3%	2.8%	
年齢別	18～39歳	16	56.3%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	6.3%
	40～64歳	51	72.5%	3.9%	5.9%	3.9%	0.0%	0.0%	9.8%	3.9%	0.0%
	65歳以上	143	69.2%	2.1%	2.8%	2.1%	6.3%	2.8%	10.5%	2.1%	2.1%
障がい別	身体障がい者	192	70.8%	2.1%	3.1%	2.6%	4.7%	2.1%	10.4%	2.1%	2.1%
	知的障がい者	16	43.8%	12.5%	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%
	精神障がい者	7	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(11) 差別や偏見等を受けた経験について

問 10 あなたは日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることがありますか。また、どのような時にそれを感じましたか。（あてはまるものすべてに○印）

障がいがあるために差別や偏見を受けたり嫌がらせをされた経験についてみると、「特に感じることはない」が87.4%で圧倒的に多くなっており、その他の項目ではいずれも5%未満である。

障がい別にみると、“知的障がい者”や“精神障がい者”で、差別等の経験がある人が比較的多くなっている。



	全体 (n)	特に感じることはない	仕事の内容や給料の額	職場や学校での人とのつきあい	親せき関係の集まりの場	スポーツ・趣味の活動	地域の行事や集まり	お店等での対応	公共機関等での対応	交通機関を利用した時	その他	
全体	215	87.4%	1.9%	1.4%	0.5%	0.5%	1.4%	1.9%	0.9%	1.9%	5.1%	
障がい別	身体障がい者	192	87.5%	1.6%	1.6%	0.0%	0.5%	1.6%	2.1%	0.5%	2.1%	5.2%
	知的障がい者	16	68.8%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	12.5%
	精神障がい者	7	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%

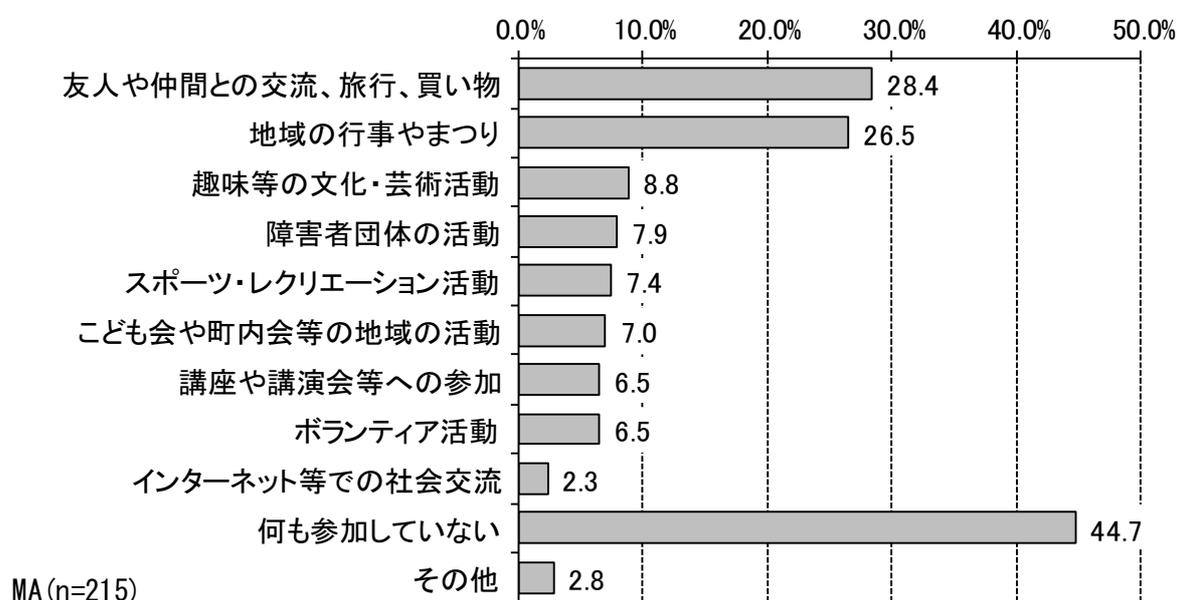
2. 社会活動について

(1) 最近半年間に参加した活動について

問 11 あなたは、最近半年間に、どのような活動に参加しましたか。
(あてはまるものすべてに○印)

最近半年間に参加した活動については、「友人や仲間との交流、旅行、買い物」が28.4%と最も多く、次いで「地域の行事やまつり」26.5%となっており、その他の項目は10%未満となっている。また、「何も参加していない」は44.7%となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど「地域の行事やまつり」、「障害者団体の活動」、「友人や仲間との交流、旅行、買い物」と答えた方が多くなっており、障がい別にみると“知的障がい者”は「障害者団体の活動」が比較的が多くなっている。



	全体 (n)	趣味等の文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	こども会や町内会等の地域の活動	地域の行事やまつり	障害者団体の活動	友人や仲間との交流、旅行、買い物	講座や講演会等への参加	インターネット等での社会交流	ボランティア活動	その他	何も参加していない	
全体	215	8.8%	7.4%	7.0%	26.5%	7.9%	28.4%	6.5%	2.3%	6.5%	2.8%	44.7%	
年齢別	18～39歳	16	12.5%	18.8%	6.3%	43.8%	25.0%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	
	40～64歳	51	9.8%	3.9%	9.8%	41.2%	9.8%	41.2%	9.8%	7.8%	9.8%	3.9%	29.4%
	65歳以上	143	8.4%	7.7%	6.3%	18.9%	5.6%	20.3%	6.3%	0.7%	6.3%	2.8%	53.8%
障がい別	身体障がい者	192	9.4%	7.3%	7.8%	25.0%	7.8%	27.1%	7.3%	2.6%	7.3%	2.1%	46.9%
	知的障がい者	16	6.3%	0.0%	0.0%	37.5%	18.8%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	25.0%
	精神障がい者	7	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%

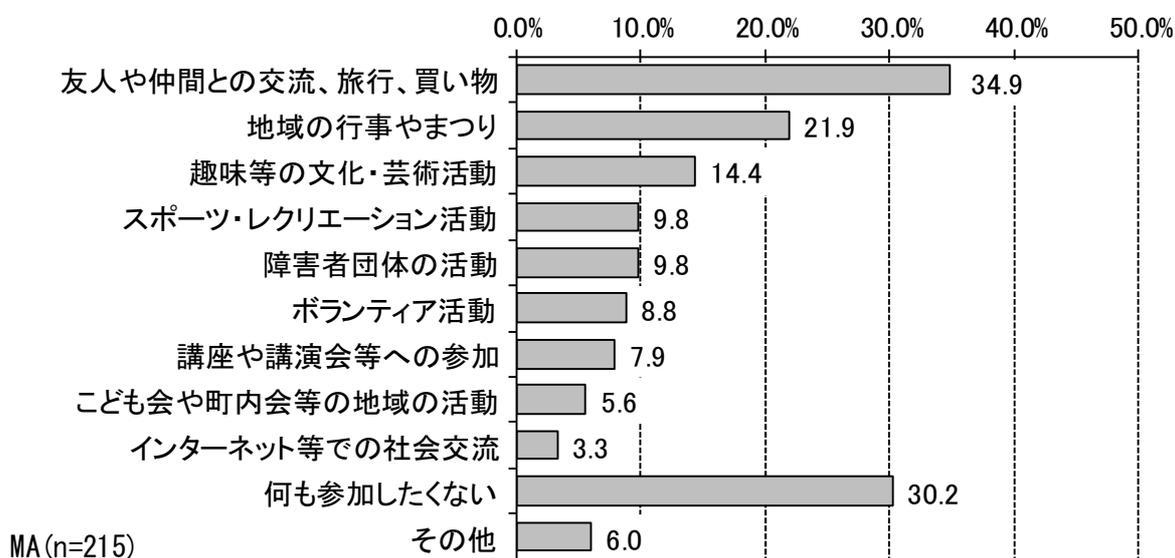
(2) 今後参加したい活動について

問 12 あなたは、今後、どのような活動にしたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)

今後参加したい活動についてみると、「友人や仲間との交流、旅行、買い物」が34.9%と最も多く、次いで「地域の行事やまつり」21.9%、「趣味等の文化・芸術活動」14.4%の順となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど「スポーツ・レクリエーション活動」、「地域の行事やまつり」、「友人や仲間との交流、旅行、買い物」に参加したいと答えた方が多くなっている。

障がい別にみると、“精神障がい者”で「何も参加したくない」と答えた方が唯一半数以上を占めている。



	全体 (n)	趣味等の文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	こども会や町内会等の地域の活動	地域の行事やまつり	障害者団体の活動	友人や仲間との交流、旅行、買い物	講座や講演会等への参加	社会交流	インターネット等でのボランティア活動	その他	何も参加したくない
全体	215	14.4%	9.8%	5.6%	21.9%	9.8%	34.9%	7.9%	3.3%	8.8%	6.0%	30.2%
年齢別	18～39歳	16	18.8%	18.8%	6.3%	43.8%	31.3%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
	40～64歳	51	25.5%	11.8%	7.8%	31.4%	13.7%	54.9%	13.7%	9.8%	17.6%	15.7%
	65歳以上	143	9.8%	8.4%	4.2%	16.1%	6.3%	25.9%	6.3%	1.4%	6.3%	37.1%
障がい別	身体障がい者	192	14.1%	9.4%	5.7%	21.4%	9.9%	32.8%	8.3%	3.6%	8.9%	31.8%
	知的障がい者	16	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	18.8%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
	精神障がい者	7	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%

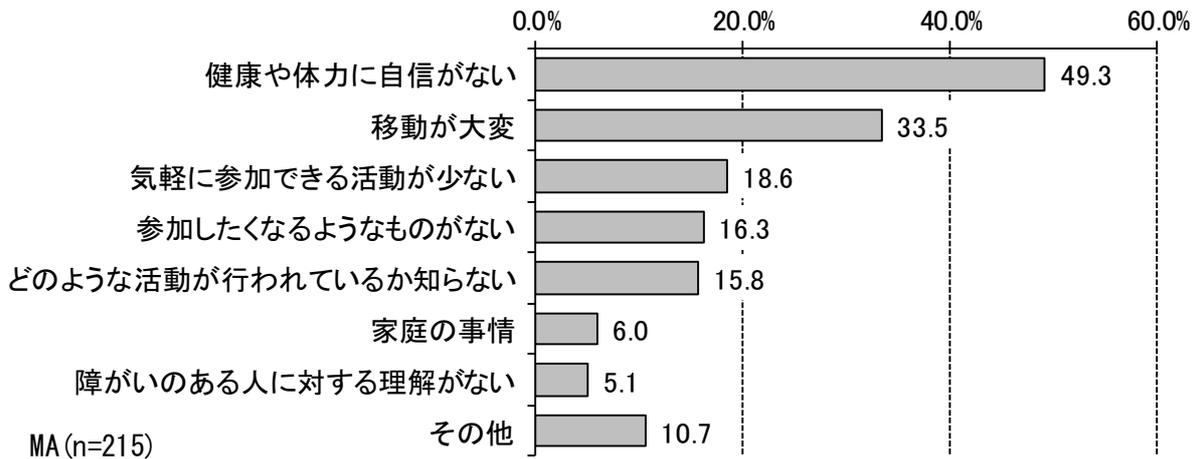
(3) 地域活動に参加する際の問題点について

問 13 あなたが地域の活動に参加される場合、問題となることは何ですか。
(主なものを3つまでに○印)

地域活動に参加する際の問題点については、「健康や体力に自信がない」が49.3%で最も多く、次いで「移動が大変」33.5%、「気軽に参加できる活動が少ない」18.6%の順となっている。

年齢別にみると、概ね年齢が低いほど「気軽に参加できる活動が少ない」、「障がいのある人に対する理解がない」が多く、年齢が高いほど「健康や体力に自信がない」、「移動が大変」と答えた方が多くなっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”で「健康や体力に自信がない」、「知的障がい者」で「どのような活動が行われているか知らない」、「精神障がい者」で「参加したくなるようなものがない」と答えた方が最も多くなっている。



		全体 (n)	健康や体力に自信がない	移動が大変	気軽に参加できる活動が少ない	参加したくなるようなものがない	障がいのある人に対する理解がない	どのような活動が行われているか知らない	家庭の事情	その他
全体		215	49.3%	33.5%	18.6%	16.3%	5.1%	15.8%	6.0%	10.7%
年齢別	18～39歳	16	12.5%	18.8%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%
	40～64歳	51	43.1%	25.5%	21.6%	13.7%	5.9%	25.5%	5.9%	9.8%
	65歳以上	143	55.2%	38.5%	17.5%	16.1%	4.2%	12.6%	6.3%	11.9%
障がい別	身体障がい者	192	51.6%	36.5%	18.2%	15.1%	5.7%	14.1%	6.3%	10.9%
	知的障がい者	16	18.8%	18.8%	12.5%	12.5%	12.5%	31.3%	6.3%	6.3%
	精神障がい者	7	28.6%	28.6%	14.3%	71.4%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%

3. 福祉手当について

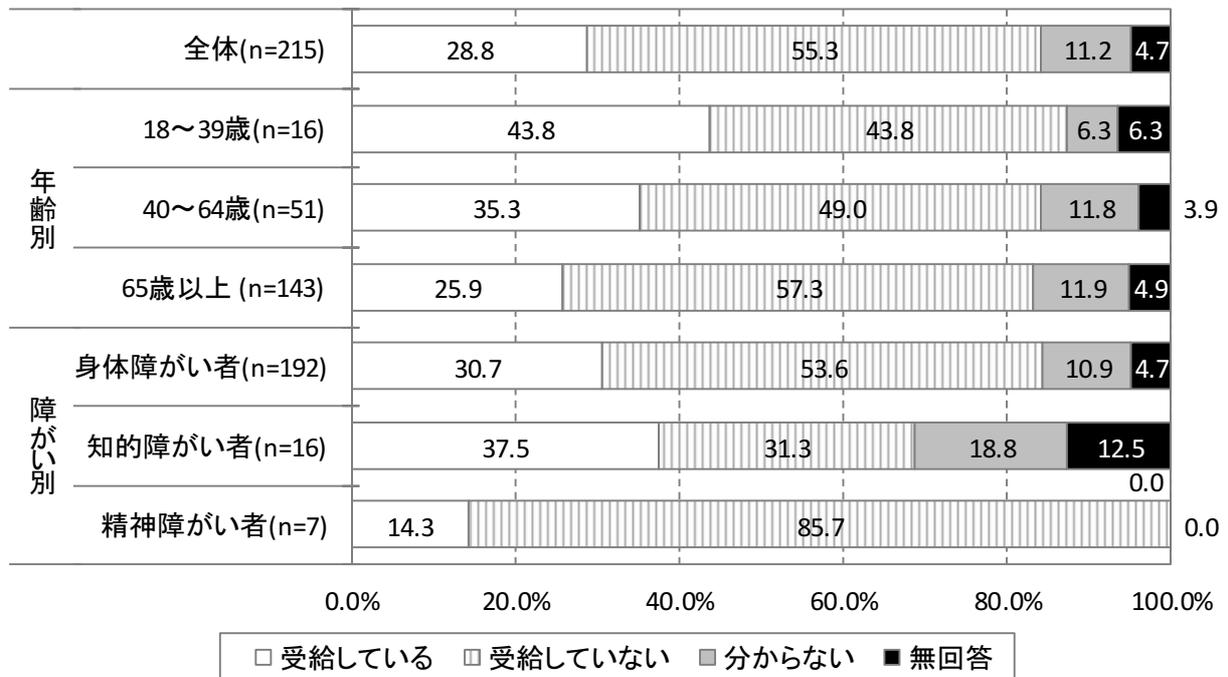
(1) 黒潮町障がい児者福祉手当の受給について

問 14 あなたは、黒潮町障がい児者福祉手当（年間 10,000 円給付事業）を受給されていますか。（1つに○印）

黒潮町障がい児者福祉手当（年間 10,000 円給付事業）の受給についてみると、「受給していない」が 55.3%で最も多く、次いで「受給している」28.8%、「分からない」11.2%の順となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど「受給している」と答えた方が多くなっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”と“知的障がい者”で「受給している」と答えた方が 30%を超えているが、“精神障がい者”では 14.3%となっており、半数以下となっている。

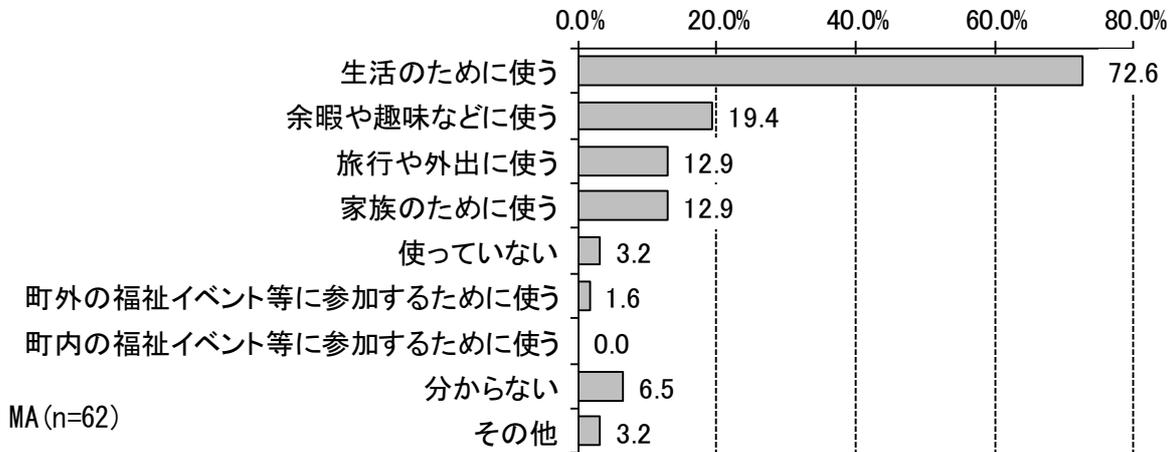


(2) 福祉手当の活用方法について

問 14-1 問 14 で「1. 受給している」に○をつけた方にお聞きします。
 福祉手当（年間 10,000 円）の活用方法は何か。
 （主なもの 3 つまでに○印）

黒潮町障がい児者福祉手当（年間 10,000 円給付事業）の活用方法についてみると、「生活のために使う」が 72.6% で最も多く、次いで「余暇や趣味などに使う」19.4%、「旅行や外出に使う」、「家族のために使う」とともに 12.9% の順となっている。

年齢・障がい別にみると、いずれも「生活のために使う」が多数を占めているものの、「40～64 歳」と「身体障がい者」で「余暇や趣味などに使う」が比較的多くなっている。



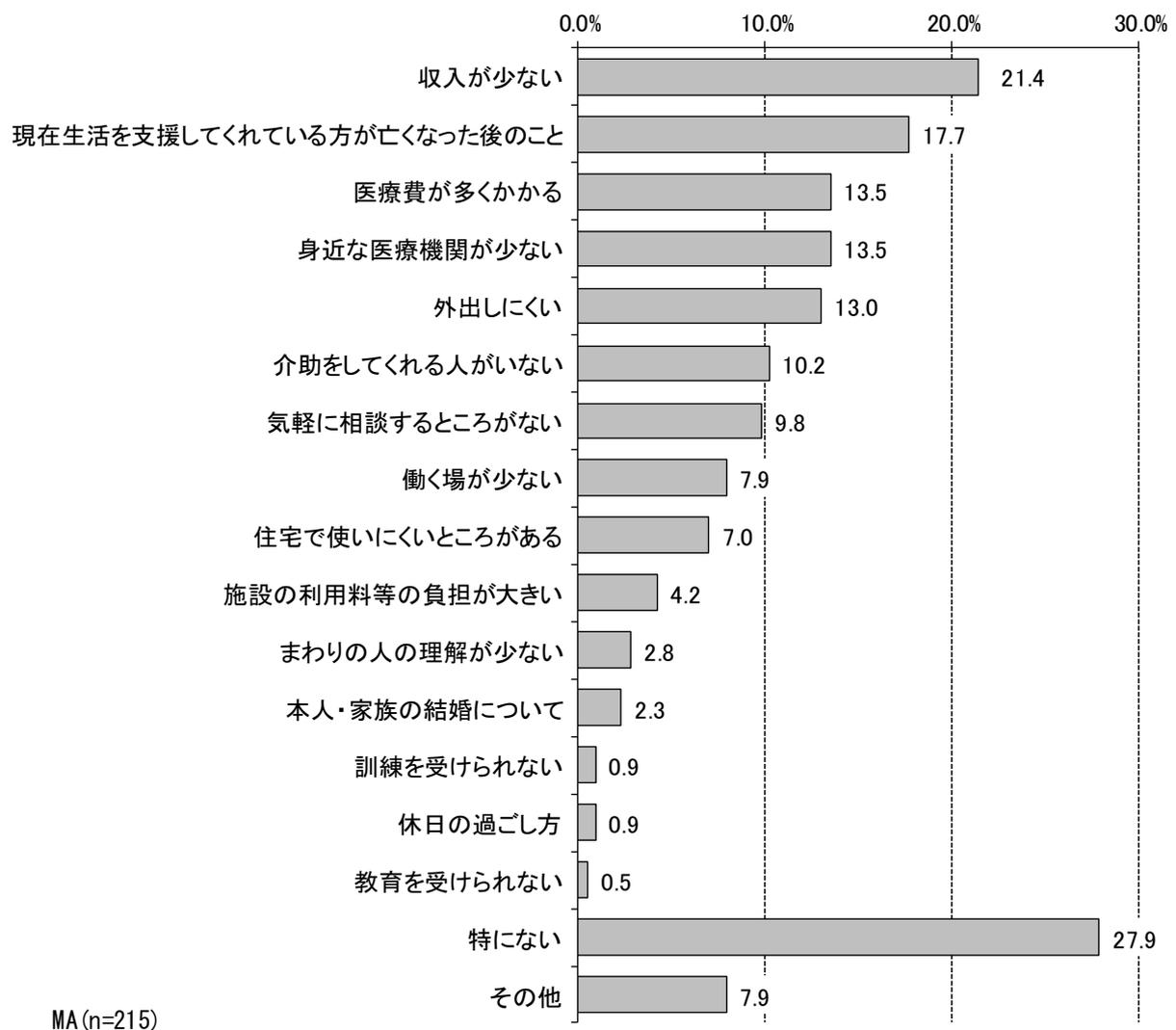
	全体 (n)	余暇や趣味などに使う	町内の福祉イベント等に参加するために使う	町外の福祉イベント等に参加するために使う	旅行や外出に使う	家族のために使う	生活のために使う	分からない	使っていない	その他	
全体	62	19.4%	0.0%	1.6%	12.9%	12.9%	72.6%	6.5%	3.2%	3.2%	
年齢別	18～39歳	7	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～64歳	18	33.3%	0.0%	0.0%	27.8%	5.6%	61.1%	5.6%	11.1%	0.0%
	65歳以上	37	13.5%	0.0%	0.0%	2.7%	13.5%	75.7%	8.1%	0.0%	5.4%
障がい別	身体障がい者	59	20.3%	0.0%	1.7%	11.9%	13.6%	74.6%	5.1%	3.4%	3.4%
	知的障がい者	6	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	精神障がい者	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4. 相談や情報について

(1) 困っていることや不安に思っていることについて

問 15 あなたは現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○印)

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについてみると、「収入が少ない」21.4%、「現在の生活を支援してくれている方が亡くなった後のこと」17.7%、「医療費が多くかかる」、「身近な医療機関が少ない」ともに13.5%の順となっているが、「特にない」と答えた方も27.9%を占めている。



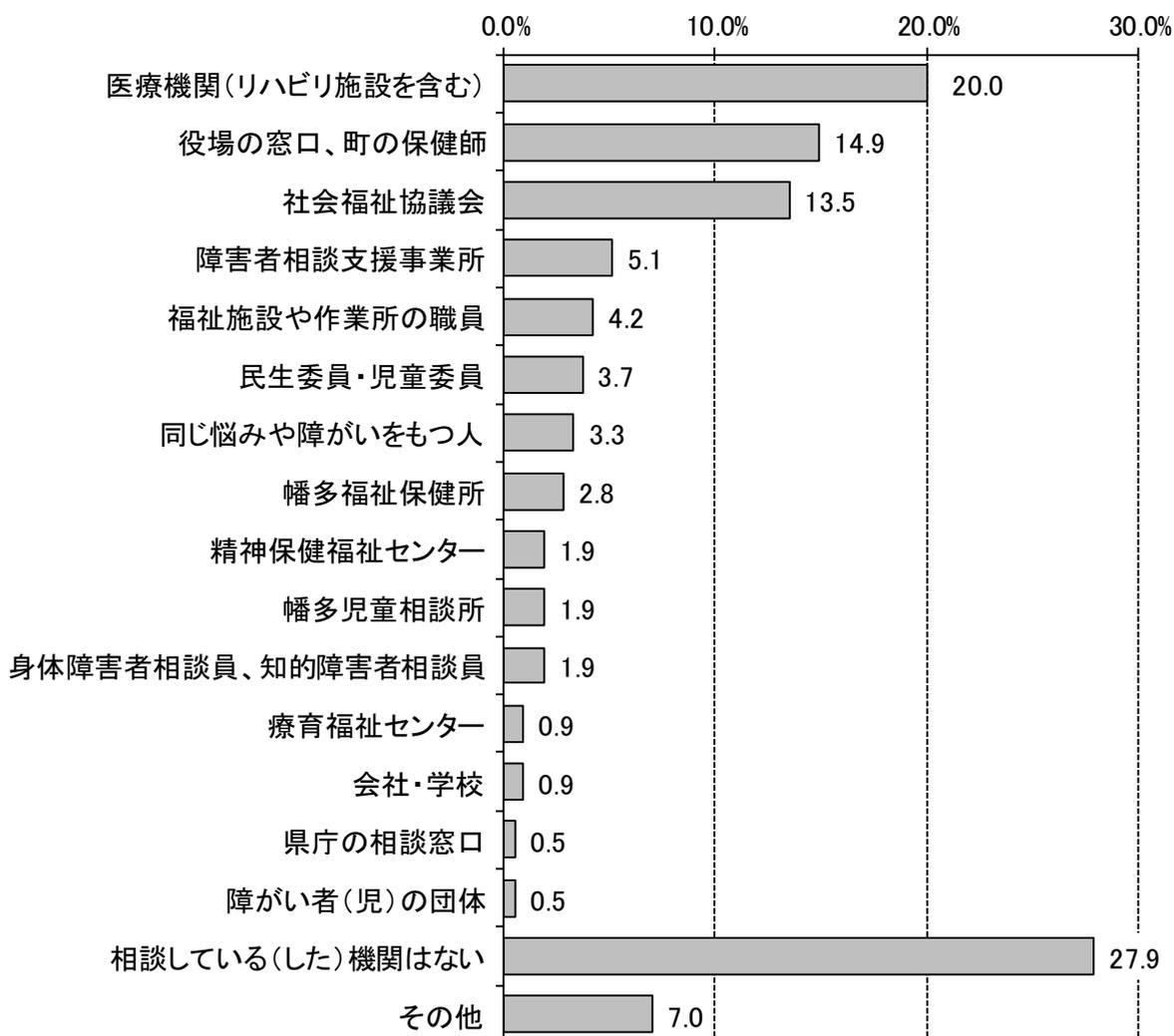
年齢・障がい別にみると、“40～64歳”と“精神障がい者”で「現在生活を支援してくれている方が亡くなった後のこと」、「知的障がい者」で「働く場が少ない」と答えた方が比較的多くなっている。

		全体 (n)	介助をして くれる人が いない	教育を受け られない	気軽に相談 するところ がない	訓練を受け られない	住宅で使い にくいところ がある	働く場が少 ない	収入が少な い	本人・家族 の結婚につ いて	外出しにく い	施設の利用 料等の負担 が大きい	身近な医療 機関が少な い	まわりの人 の理解が少 ない	休日の過ご し方	現在生活を 支援してく れている方 が亡くなっ た後のこと	その他	特にな い
	全体	215	10.2%	0.5%	9.8%	0.9%	7.0%	7.9%	21.4%	2.3%	13.0%	4.2%	13.5%	2.8%	0.9%	17.7%	7.9%	27.9%
年 齢 別	18～39歳	16	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	6.3%	18.8%	18.8%	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	6.3%	6.3%	18.8%	12.5%	18.8
	40～64歳	51	7.8%	2.0%	9.8%	2.0%	9.8%	21.6%	25.5%	3.9%	7.8%	3.9%	15.7%	2.0%	2.0%	25.5%	7.8%	33.3
	65歳以上	143	11.9%	0.0%	9.1%	0.7%	6.3%	2.1%	20.3%	1.4%	14.0%	4.2%	12.6%	2.8%	0.0%	14.7%	7.7%	27.3
障 が い 別	身体障がい者	192	10.4%	0.0%	9.4%	1.0%	6.8%	5.7%	19.8%	2.1%	14.6%	4.7%	12.5%	3.1%	1.0%	16.7%	7.8%	29.7%
	知的障がい者	16	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	25.0%	43.8%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	6.3%	6.3%	18.8%	12.5%	6.3%
	精神障がい者	7	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	85.7%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%

(2) 相談している機関について

問 16 生活や福祉等について相談している（相談したことがある）機関はどこですか。
（あてはまるものすべてに○印）

生活や福祉等について相談している（相談したことがある）機関についてみると、「医療機関（リハビリ施設を含む）」が20.0%で最も多く、次いで「役場の窓口、町の保健師」14.9%、「社会福祉協議会」13.5%の順となっており、この3機関以外は10%未満となっている。また、「相談している（した）機関はない」と答えた方も27.9%を占めている。



MA(n=215)

障がい別にみると、“身体障がい者”で「社会福祉協議会」、「知的障がい者」で「幡多児童相談所」と答えた方も多くなっている。

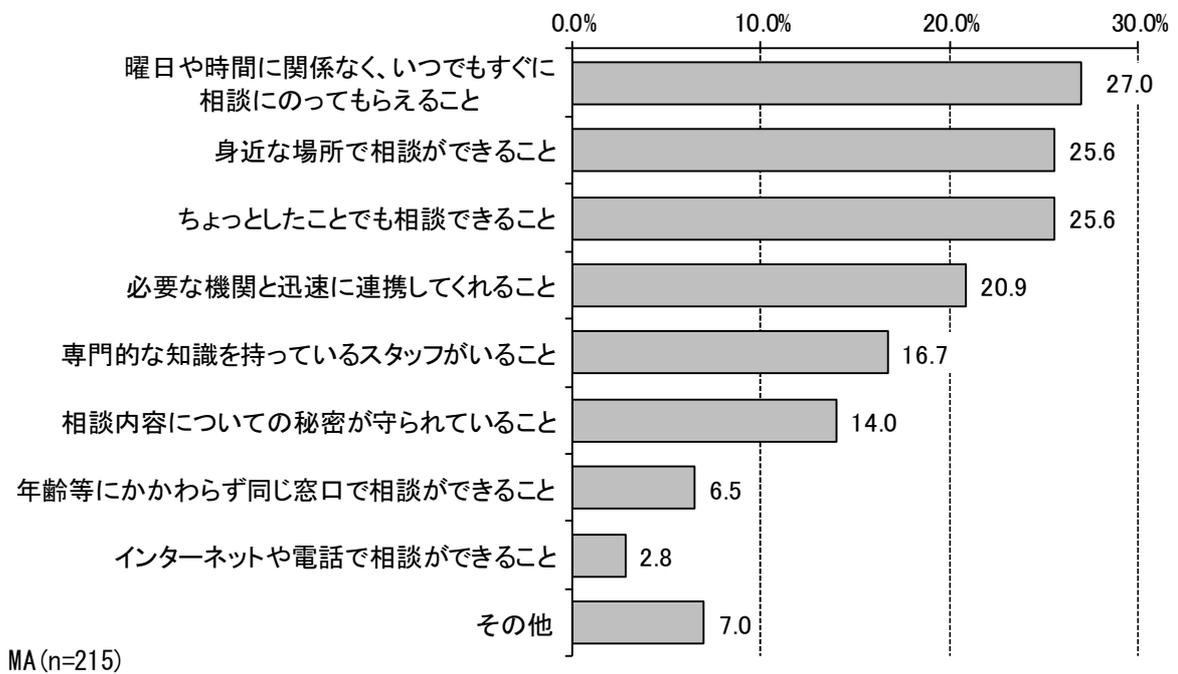
	全体 (n)	医療機関（リハビリ施設を含む）	会社・学校	役場の窓口、町の保健師	社会福祉協議会	福祉施設や作業所の職員	障害者相談支援事業所	幡多福祉保健所	県庁の相談窓口	療育福祉センター	精神保健福祉センター	幡多児童相談所	民生委員・児童委員	身体障害者相談員、知的障害者相談員	障がい者（児）の団体	同じ悩みや障がいをもつ人	その他	相談している（した）機関はない	
全体	215	20.0%	0.9%	14.9%	13.5%	4.2%	5.1%	2.8%	0.5%	0.9%	1.9%	1.9%	3.7%	1.9%	0.5%	3.3%	7.0%	27.9%	
障がい別	身体障がい者	192	20.8%	1.0%	15.6%	14.6%	3.6%	5.2%	3.1%	0.5%	0.5%	1.0%	1.0%	3.6%	2.1%	0.5%	3.1%	6.3%	27.6%
	知的障がい者	16	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	6.3%
	精神障がい者	7	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%

(3) 相談機関に期待することについて

問 17 相談機関に期待することは何ですか。(主なもの3つまでに○印)

相談機関に期待することについてみると、「曜日や時間に関係なく、いつでもすぐに相談にのってもらえること」が27.0%で最も多く、次いで「身近な場所で相談ができること」、「ちょっとしたことでも相談できること」ともに25.6%、「必要な機関と迅速に連携してくれること」20.9%の順となっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”で「必要な機関と迅速に連携してくれること」、「精神障がい者」で「相談内容についての秘密が守られていること」と答えた方も多くなっている。

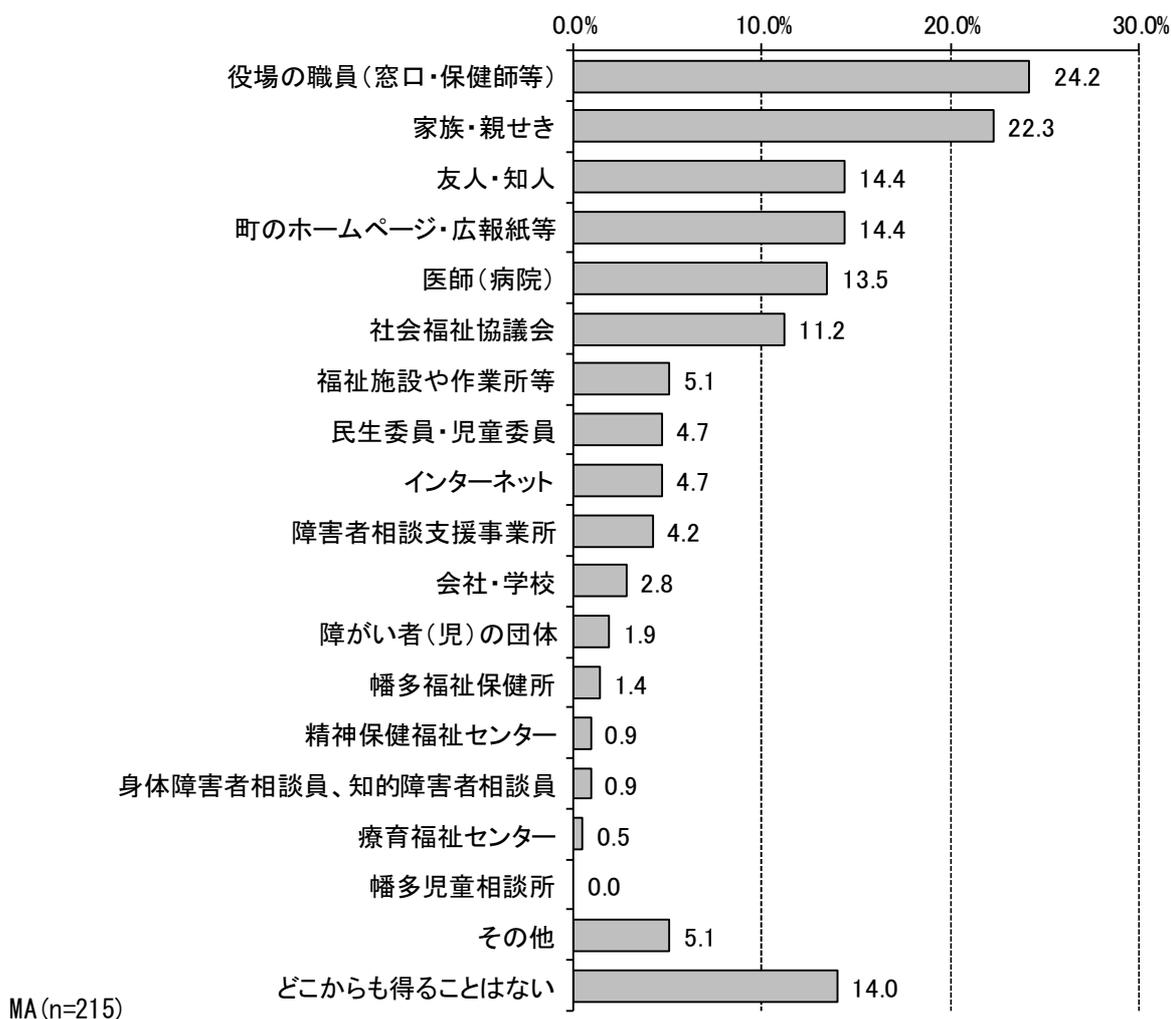


	全体 (n)	もぐな曜 らにく日 え相、や る談い時 こにつ間 とのでに つも関 てす係	が身 で近 きな 場 所 で 相 談	とでち もよ 相つ 談と でし きた こと	フ持專 がっ門 いて的 るい こる こ と ス タ を ッ	こに必 と連 携な し機 関と れ迅 る速	がず年 で同 でき じ等 る窓 に か か 相 わ 談 ら	いの相 秘 こ 密 が 守 ら れ て て	る電 話 こ と で 相 談 が で き や	その他
全体	215	27.0%	25.6%	25.6%	16.7%	20.9%	6.5%	14.0%	2.8%	7.0%
障がい別										
身体障がい者	192	26.0%	26.0%	24.5%	15.6%	21.4%	6.3%	14.6%	2.1%	6.3%
知的障がい者	16	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	18.8%	12.5%	6.3%	0.0%	18.8%
精神障がい者	7	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%

(4) 福祉情報の入手先について

問 18 あなたは、福祉に関する情報をどこから得ていますか。
(主なものを3つまでに○印)

福祉に関する情報の入手先についてみると、「役場の職員（窓口・保健師等）」が24.2%で最も多く、次いで「家族・親せき」22.3%、「友人・知人」、「町のホームページ・広報紙等」ともに14.4%の順となっている。また、「どこからも得ることはない」と答えた方も14.0%を占めている。



年齢別にみると、いずれも「役場の職員（窓口・保健師等）」が最も多く（“65歳以上”では「家族・親せき」も同率）、年齢が低いほど「会社・学校」、「福祉施設や作業所等」、「障害者相談支援事業所」と答えた方も多くなっている。

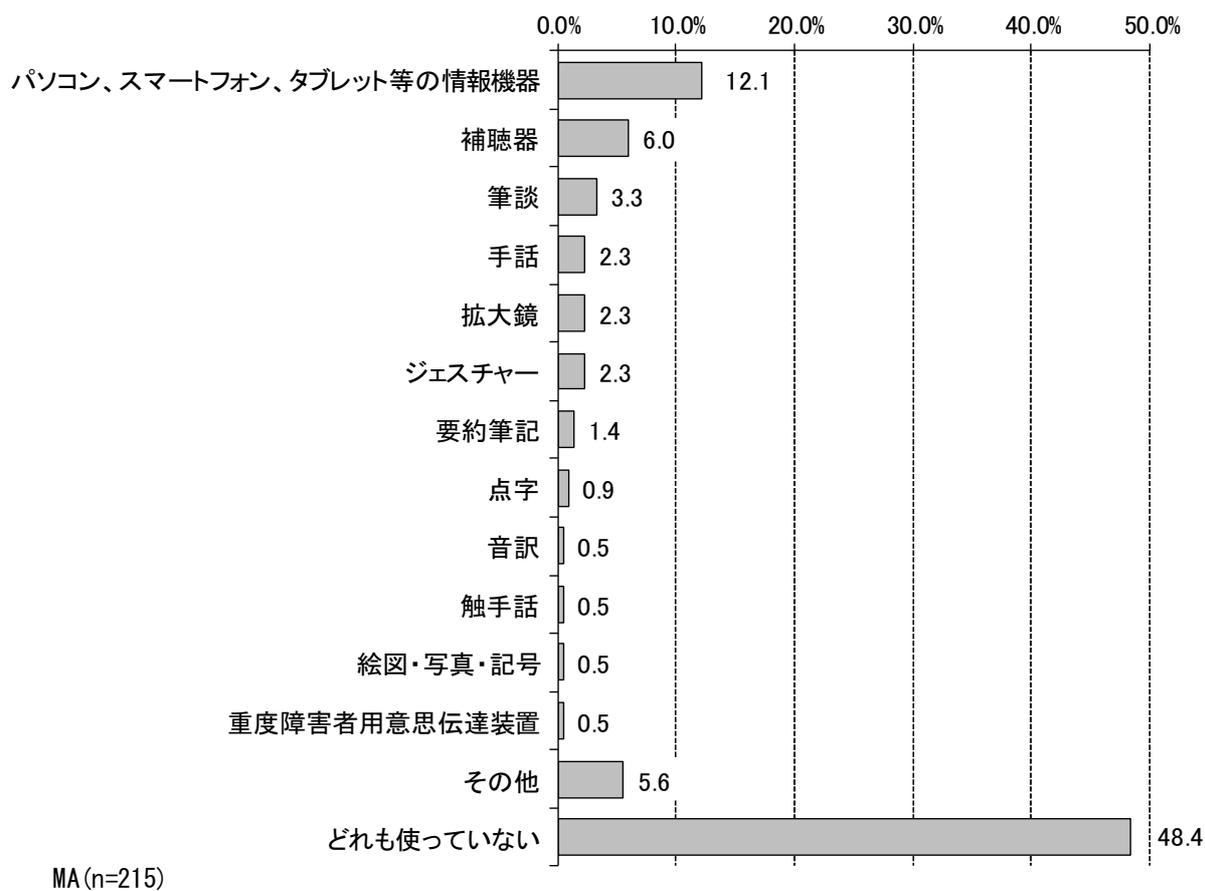
障がい別にみると、“身体障がい者”で「役場の職員（窓口・保健師等）」、“知的障がい者”で「家族・親せき」、「精神障がい者」で「医師（病院）」が最も多くなっている。

	全体（n）	家族・親せき	友人・知人	会社・学校	医師（病院）	福祉施設や作業所等	役場の職員（窓口・保健師等）	町のホームページ・広報紙等	障害者相談支援事業所	幡多福祉保健所	社会福祉協議会	療育福祉センター	精神保健福祉センター	幡多児童相談所	民生委員・児童委員	身体障害者相談員、知的障害者相談員	障がい者（児）の団体	インターネット	その他	どこからも得ることはない	
全体	215	22.3%	14.4%	2.8%	13.5%	5.1%	24.2%	14.4%	4.2%	1.4%	11.2%	0.5%	0.9%	0.0%	4.7%	0.9%	1.9%	4.7%	5.1%	14.0%	
年齢別	18～39歳	16	25.0%	18.8%	18.8%	12.5%	18.8%	31.3%	6.3%	18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	
	40～64歳	51	21.6%	15.7%	5.9%	17.6%	7.8%	25.5%	23.5%	9.8%	0.0%	7.8%	2.0%	3.9%	0.0%	2.0%	3.9%	2.0%	13.7%	5.9%	3.9%
	65歳以上	143	22.4%	14.0%	0.0%	12.6%	2.8%	22.4%	12.6%	0.7%	2.1%	11.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	1.4%	0.7%	4.9%	18.2%
障がい別	身体障がい者	192	22.4%	15.6%	1.6%	13.0%	4.2%	23.4%	15.1%	4.2%	1.6%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	1.0%	2.1%	4.7%	5.2%	13.5%
	知的障がい者	16	31.3%	6.3%	12.5%	12.5%	25.0%	18.8%	0.0%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	18.8%	
	精神障がい者	7	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	

(5) 情報入手やコミュニケーションに用いる方法について

問 19 あなたは、情報入手やコミュニケーションにどのような方法を用いていますか。
(あてはまるものすべてに○印)

情報入手やコミュニケーションに用いる方法については、「パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器」が12.1%で最も多く、次いで「補聴器」6.0%の順となっており、その他は5%未満となっている。また、「どれも使っていない」と答えた方が最も多く、約半数を占めている。



年齢別にみると、“18～39歳”と“40～64歳”で「パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器」、「65歳以上」で「補聴器」と答えた方が多くなっているが、いずれの年代でも「どれも使っていない」と答えた方が最も多く、“65歳以上”で半数を超えている。

障がい別にみると、“身体障がい者”と“精神障がい者”で「パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器」、「知的障がい者」で「補聴器」、「絵図・写真・記号」、「ジェスチャー」と答えた方が多くなっているが、いずれも「どれも使っていない」と答えた方が約半数を占めている。

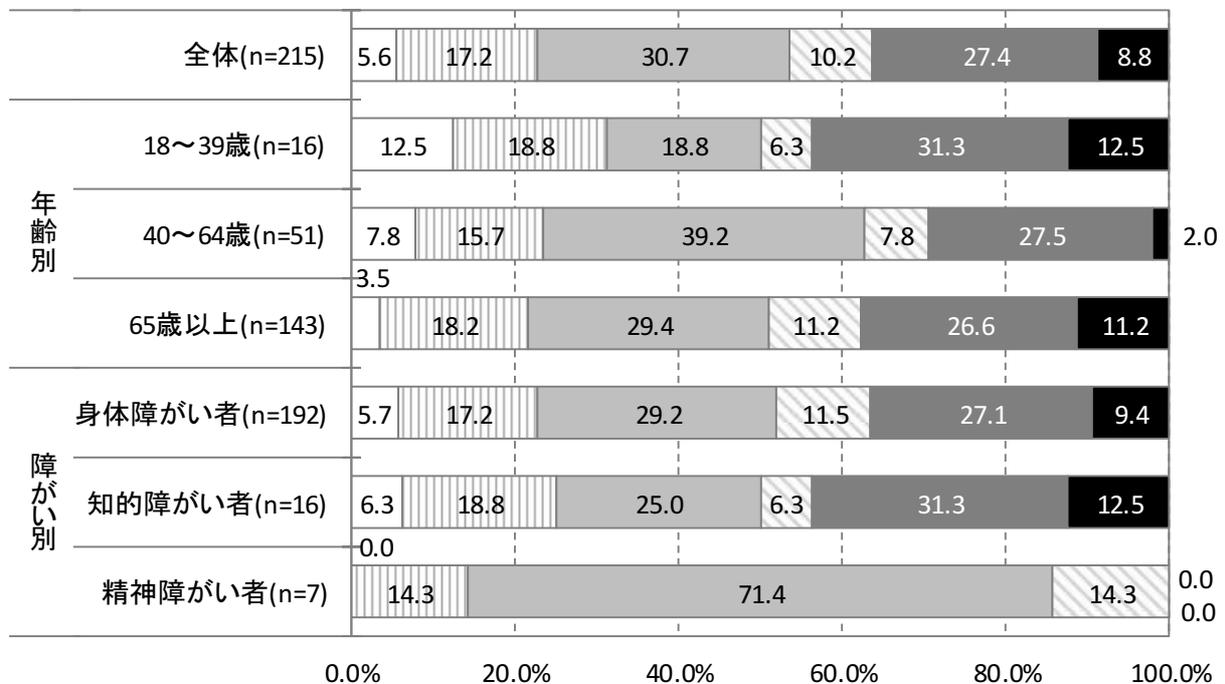
	全体 (n)	手話	筆談	要約筆記	点字	音訳	補聴器	拡大鏡	触手話	絵図・写真・記号	ジェスチャー	重度障害者用意思伝達装置	パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器	その他	どれも使っていない	
全体	215	2.3%	3.3%	1.4%	0.9%	0.5%	6.0%	2.3%	0.5%	0.5%	2.3%	0.5%	12.1%	5.6%	48.4%	
年齢別	18～39歳	16	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%	0.0%	43.8%	
	40～64歳	51	3.9%	5.9%	0.0%	3.9%	2.0%	5.9%	2.0%	2.0%	5.9%	0.0%	29.4%	9.8%	41.2%	
	65歳以上	143	1.4%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	6.3%	2.8%	0.0%	0.0%	0.7%	4.9%	4.9%	50.3%	
障がい別	身体障がい者	192	2.1%	3.6%	1.6%	1.0%	0.5%	6.8%	2.6%	0.5%	0.0%	2.1%	0.5%	11.5%	5.7%	47.4%
	知的障がい者	16	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	56.3%
	精神障がい者	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	57.1%

(6) 福祉に関する情報は十分に得られているかについて

問 20 あなたは、福祉に関する情報は、十分に得られていると感じますか。
(1 つに○印)

福祉に関する情報は十分に得られていると感じているかについてみると、「あまり十分とはいえない」が30.7%で最も多く、次いで「わからない」27.4%、「どちらかといえば十分である」17.2%の順となっており、「十分得られている」と「どちらかといえば十分である」を合わせた『十分』(22.8%)より、「あまり十分とはいえない」と「不十分である」を合わせた『不十分』(40.9%)が多くなっている。

年齢別にみると、『十分』は年齢が低いほど該当者が多く、障がい別にみると“知的障がい者”に最も多くなっており、『不十分』は“精神障がい者”に最も多くなっている。



□ 十分得られている □ どちらかといえば十分である □ あまり十分とはいえない
 □ 不十分である ■ わからない ■ 無回答

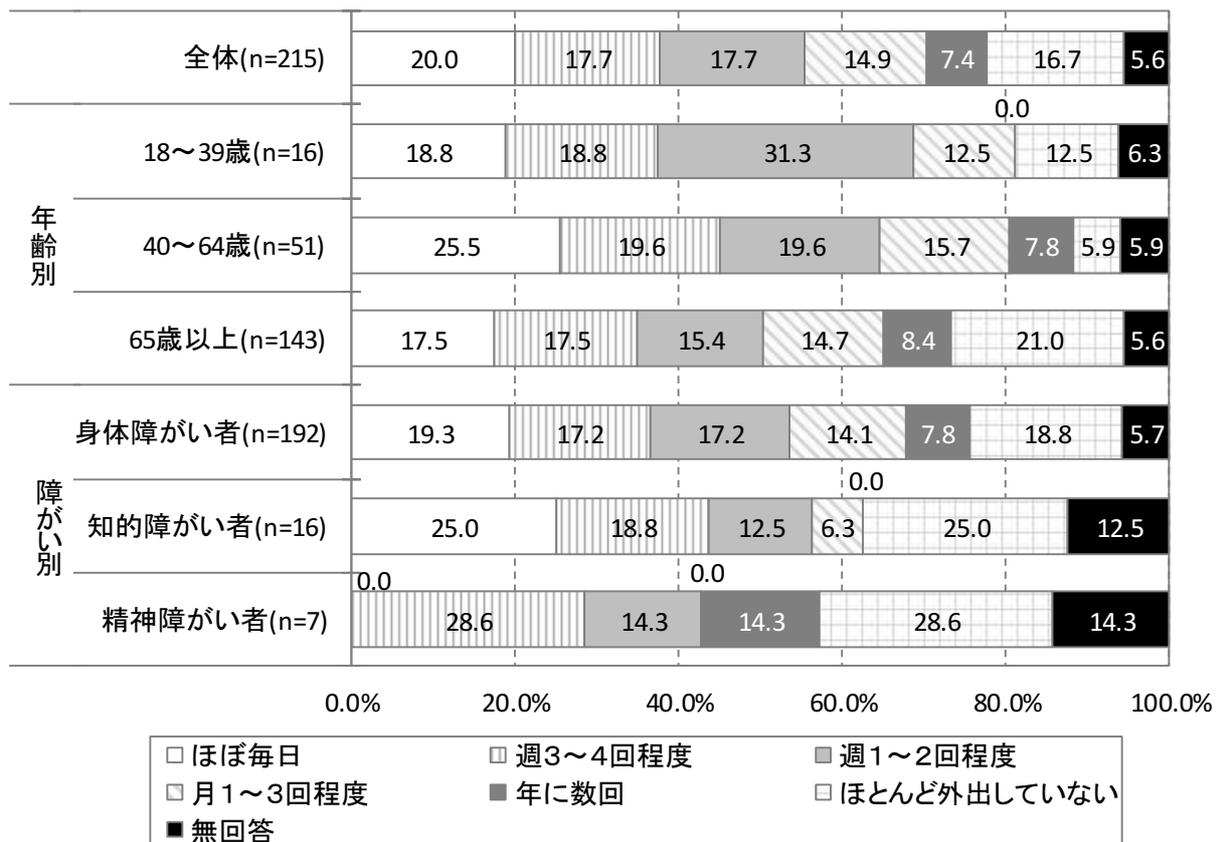
5. 外出について

(1) 余暇時間の外出頻度について

問 21 あなたは、余暇時間にどの程度外出しますか。（通学・仕事、通院・リハビリ、デイサービスを除きます）（1つに○印）

余暇時間の外出頻度についてみると、「ほぼ毎日」が20.0%で最も多く、次いで「週3～4回程度」、「週1～2回程度」ともに17.7%、「ほとんど外出していない」16.7%の順となっている。

年齢・障がい別にみると、「ほぼ毎日」、「週3～4回」を合わせた『外出頻度が高い方』は“40～64歳”で45.1%、“知的障がい者”で43.8%と最も多く、「年に数回」、「ほとんど外出していない」を合わせた『外出頻度が低い方』は“65歳以上”で29.4%、“精神障がい者”で42.9%と最も高く、特に“精神障がい者”では「ほとんど外出していない」と答えた方は約30%を占めている。



(2) 外出時の移動手段について

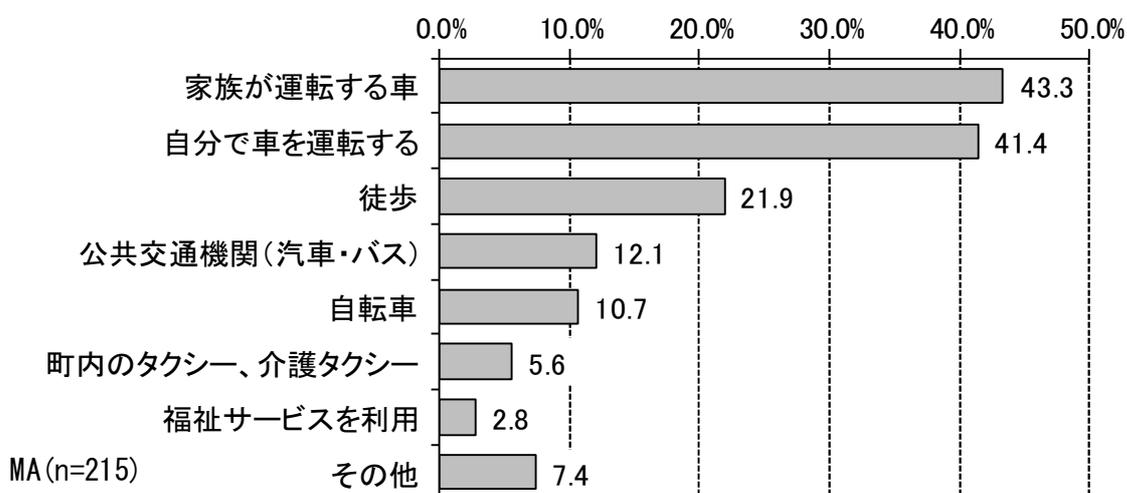
問 22 外出する時の主な移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

外出時の主な移動手段についてみると、「家族が運転する車」が43.3%で最も多く、次いで「自分で車を運転する」41.4%、「徒歩」21.9%の順となっている。

年齢別にみると、“18～39歳”と“65歳以上”で「家族が運転する車」が最も多く、“40～64歳”では「自分で車を運転する」が最も多くなっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”と“知的障がい者”で「家族が運転する車」が最も多く、“精神障がい者”で「公共交通機関(自動車・バス)」が最も多くなっている。

また、“知的障がい者”で「自転車」と答えた方も他と比べて多くなっている。



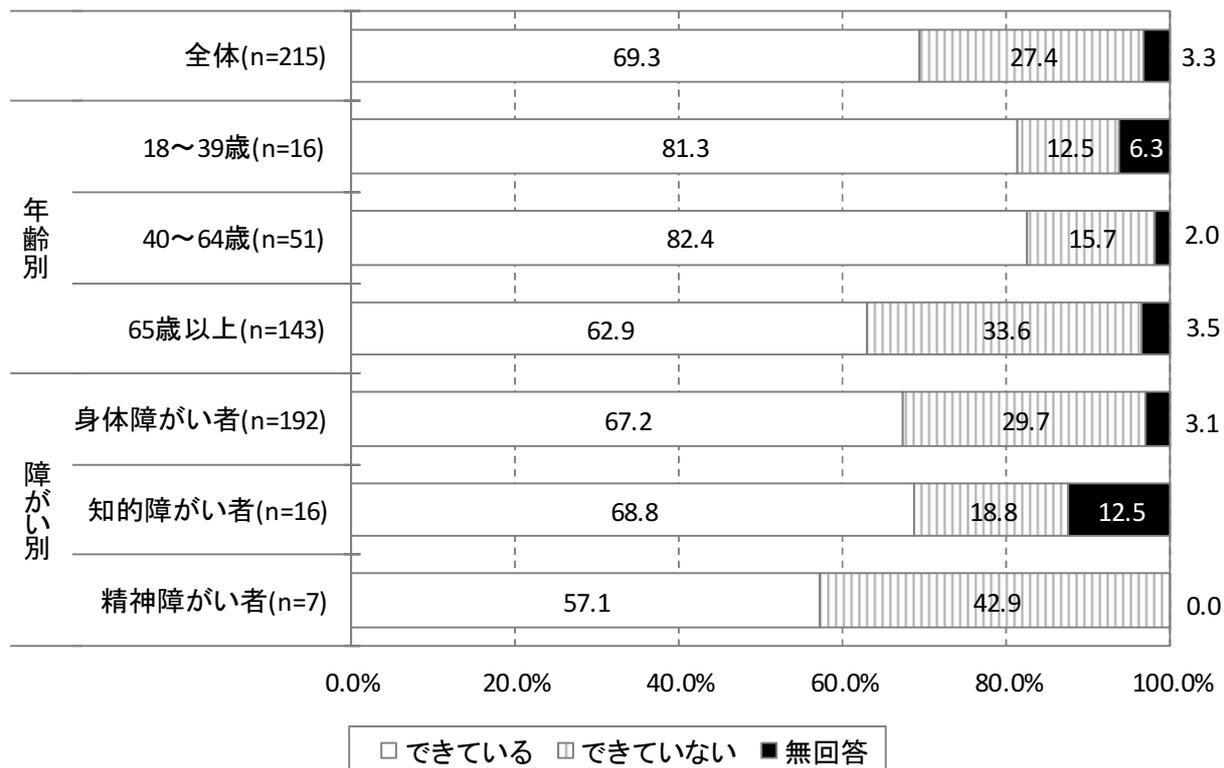
		全体 (n)	自分で 車を運 転する	家族 が運 転する 車	自 転 車	徒 歩	公 共 交 通 機 関 (汽 車・ バ ス)	町 内 の タ ク シ ー 、 介 護	福 祉 サ ー ビ ス を 利 用	そ の 他
全体		215	41.4%	43.3%	10.7%	21.9%	12.1%	5.6%	2.8%	7.4%
年 齢 別	18～39歳	16	43.8%	68.8%	18.8%	43.8%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%
	40～64歳	51	56.9%	45.1%	13.7%	25.5%	11.8%	5.9%	2.0%	7.8%
	65歳以上	143	35.7%	40.6%	9.1%	17.5%	11.9%	6.3%	3.5%	7.7%
障 が い 別	身体障がい者	192	41.1%	44.3%	9.4%	20.8%	10.9%	5.7%	2.6%	7.8%
	知的障がい者	16	6.3%	62.5%	37.5%	50.0%	18.8%	0.0%	0.0%	6.3%
	精神障がい者	7	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 希望どおりの外出について

問 23 あなたは、希望どおりの外出ができていますか。(1つに○印)

希望どおり外出ができていないかについてみると、「できていない」27.4%、「できていない」27.4%となっている。

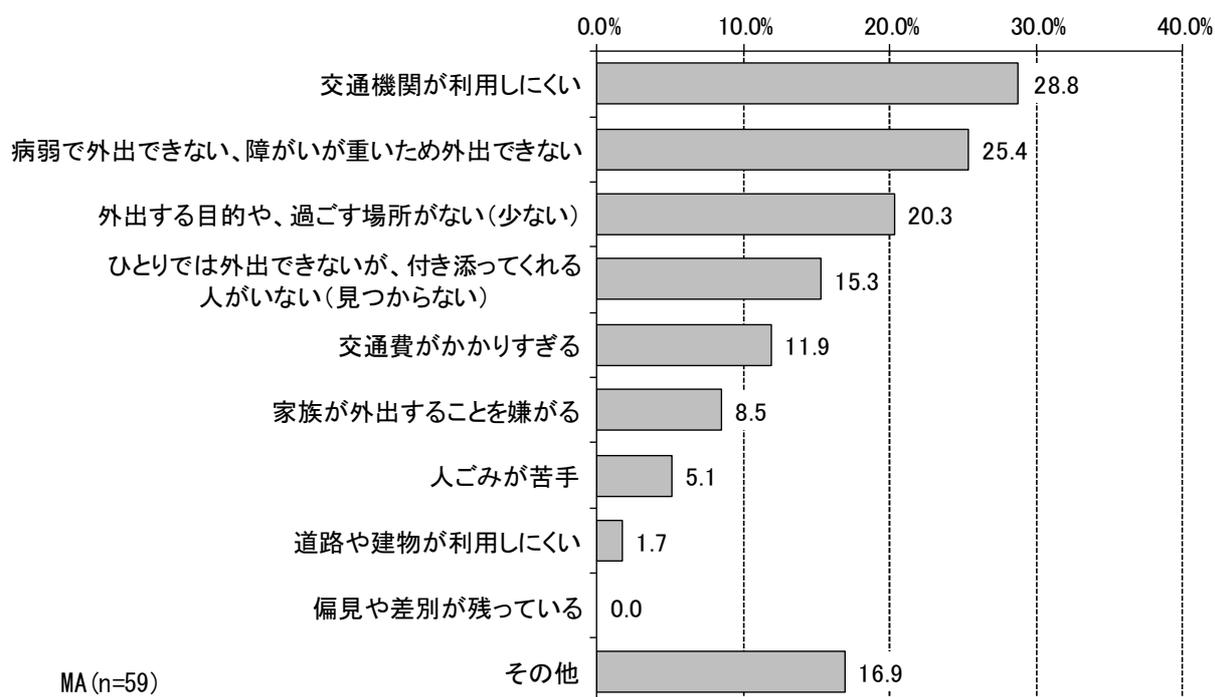
年齢・障がい別にみると、「できていない」と答えた方はいずれも50%を超えているが、「65歳以上」と「精神障がい者」は他と比べると低くなっている。



(4) 希望どおり外出できていない理由について

問 23-1 問 23 で「2. できていない」に○をつけた方に、お聞きします。
あなたが希望どおりの外出ができていない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○印)

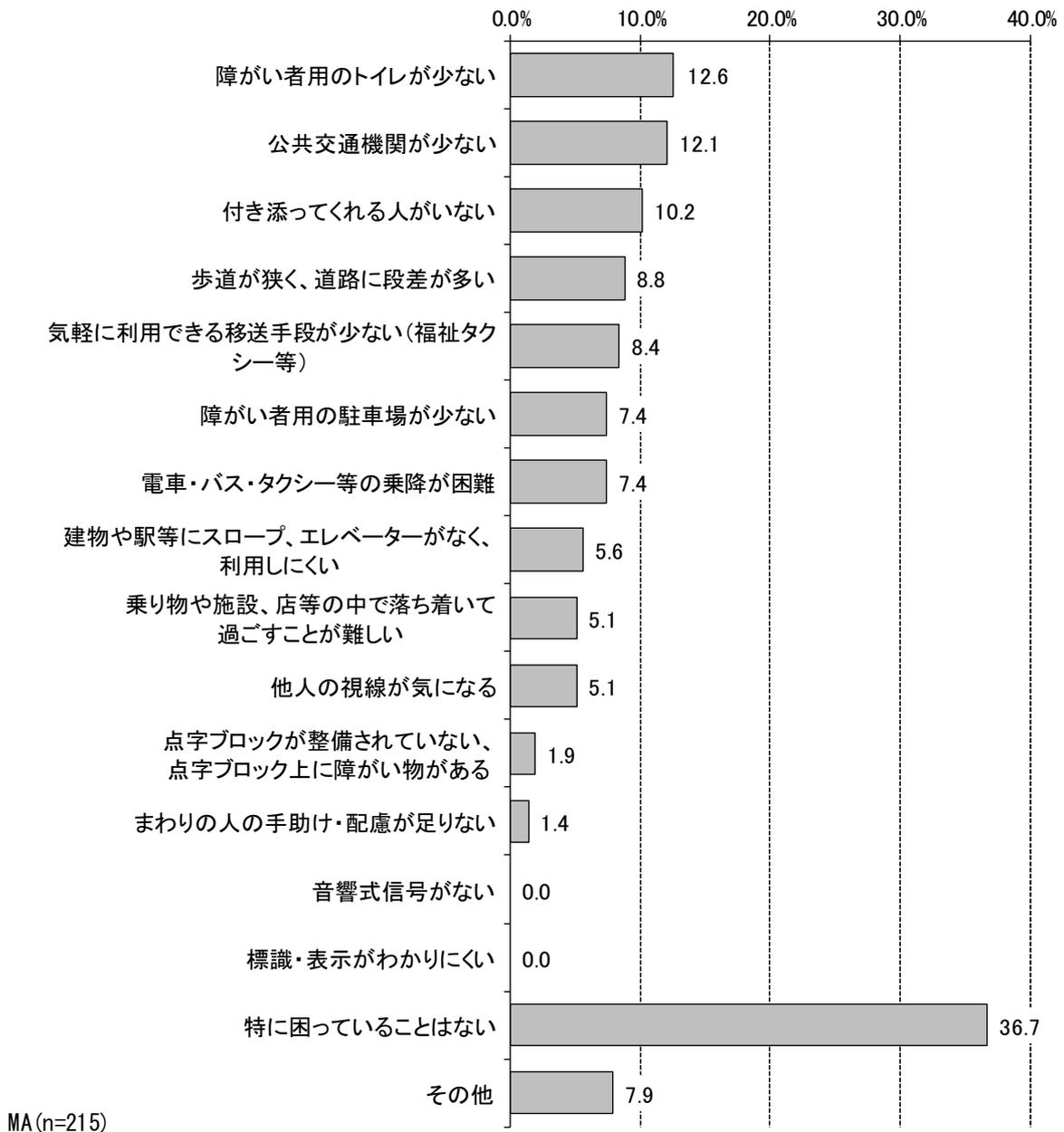
希望どおり外出できていないと回答した 59 人について理由をみると、「交通機関が利用しにくい」が 28.8%で最も多く、次いで「病弱で外出できない、障がいがあるため外出できない」25.4%、「外出する目的や、過ごす場所がない(少ない)」20.3%の順となっている。



(5) 外出時に困ることについて

問 24 あなたが外出した時に、困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

外出した時に困ることについてみると、「障がい者用のトイレが少ない」が12.6%で最も多く、次いで「公共交通機関が少ない」12.1%、「付き添ってくれる人がいない」10.2%の順となっているが、「特に困っていることはない」と答えた方も約4割を占めている。



年齢別にみると、“18～39歳”で「公共交通機関が少ない」、「40～64歳”で「他人の視線が気になる」、「65歳以上”で「障がい者用のトイレが少ない」が最も多く、年齢によって理由が異なっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”で「障がい者用のトイレが少ない」、「知的障がい者”で「公共交通機関が少ない」、「精神障がい者”で「付き添ってくれる人がいない」、「他人の視線が気になる」、「電車・バス・タクシー等の乗降が困難」がともに最も多くなっている。

		全体 (n)	付き添ってくれる人がいない	他人の視線が気になる	まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	点字ブロックが整備されていない、点字ブロック上に障がい物がある	音響式信号がない	障がい者用の駐車場が少ない	標識・表示がわかりにくい	気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉タクシー等)	建物や駅等にスロープ、エレベーターがなく、利用しにくい	公共交通機関が少ない	電車・バス・タクシー等の乗降が困難	乗り物や施設、店等の中で落ち着いて過ごすことが難しい	障がい者用のトイレが少ない	その他	特に困っていることはない
	全体	215	10.2%	5.1%	1.4%	8.8%	1.9%	0.0%	7.4%	0.0%	8.4%	5.6%	12.1%	7.4%	5.1%	12.6%	7.9%	36.7%
年齢別	18～39歳	16	6.3%	6.3%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	25.0%
	40～64歳	51	2.0%	11.8%	2.0%	3.9%	0.0%	0.0%	9.8%	0.0%	9.8%	7.8%	7.8%	3.9%	3.9%	7.8%	7.8%	47.1%
	65歳以上	143	14.0%	2.1%	1.4%	9.8%	2.1%	0.0%	7.0%	0.0%	7.7%	5.6%	11.9%	9.1%	4.9%	15.4%	9.1%	34.3%
障がい別	身体障がい者	192	10.9%	4.7%	1.6%	9.9%	2.1%	0.0%	8.3%	0.0%	9.4%	6.3%	10.9%	7.8%	5.7%	14.1%	8.3%	34.9%
	知的障がい者	16	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	31.3%
	精神障がい者	7	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%

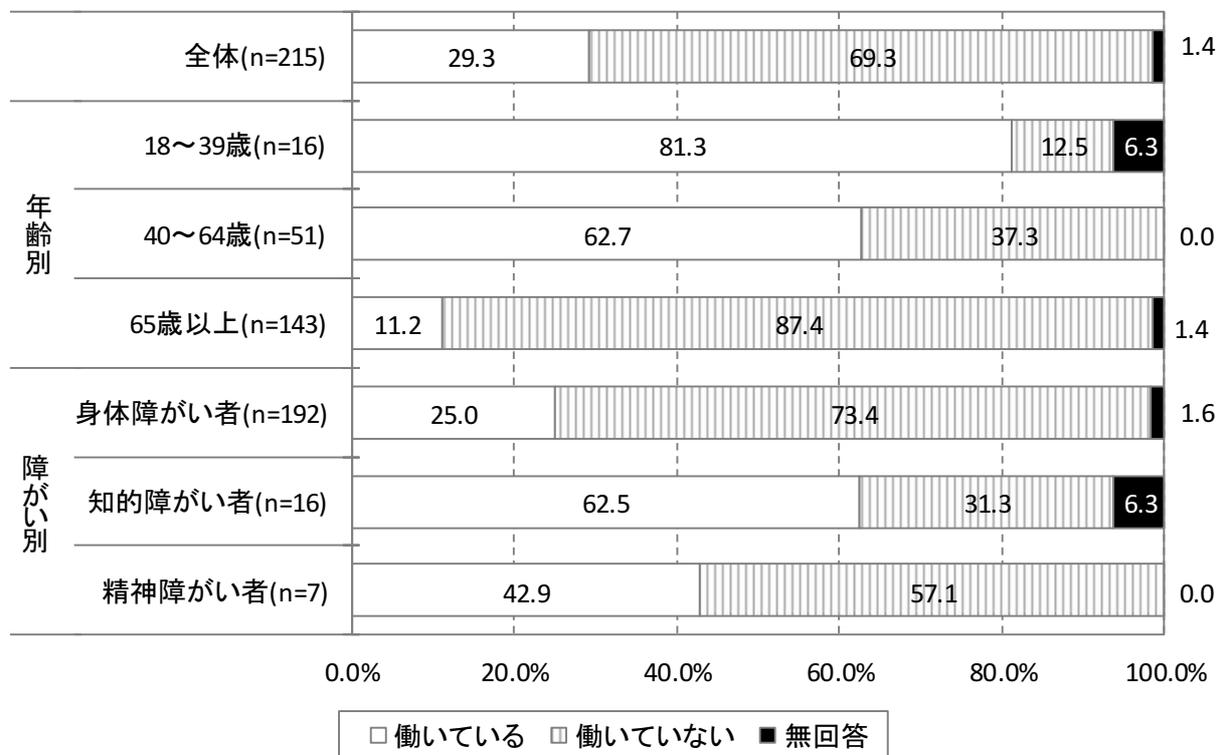
6. 就労について

(1) 就労の有無について

問 25 あなたは、現在、働いていますか。(1つに○印)

現在就労しているかについてみると、「働いている」は29.3%と、約3割となっている。

年齢別にみると、年齢が低いほど「働いている」と答えた方が多く、“18～39歳”で81.3%と最も多く、障がい別にみると“知的障がい者”で62.5%と最も多くなっている。



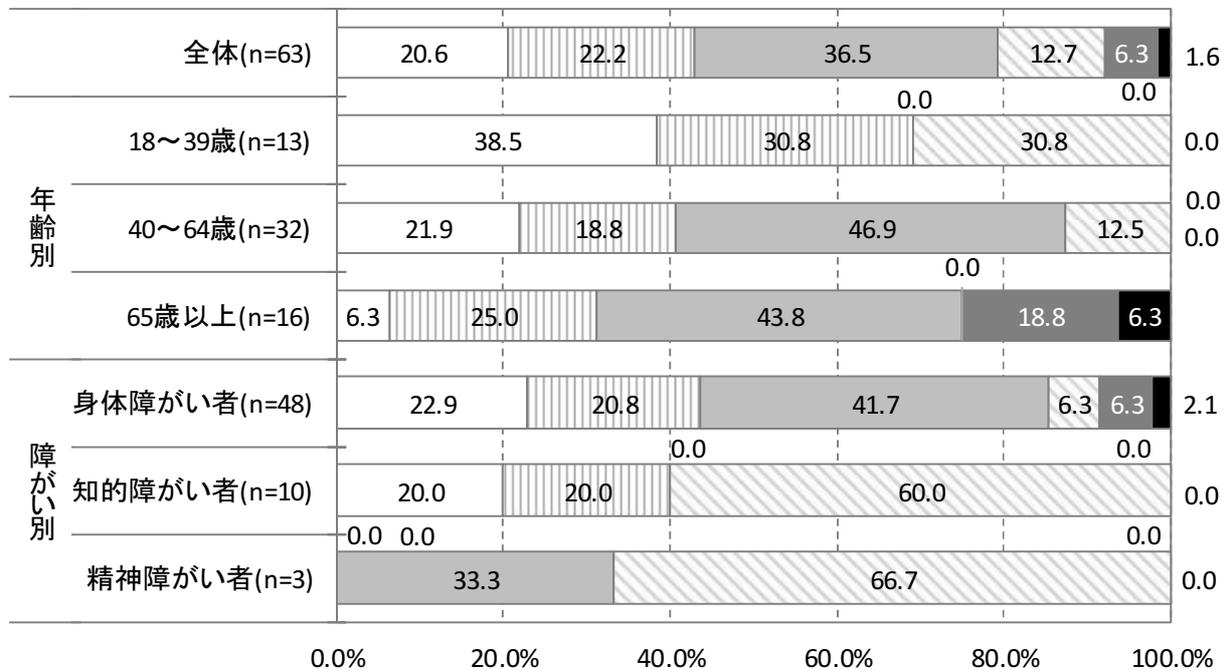
(2) 雇用形態について

問 25-1 問 25 で「1. 働いている」に○をつけた方に、お聞きします。
雇用の形態はどれですか。(1つに○印)

雇用形態についてみると、「自営業(家の仕事の手伝いを含む)」が36.5%で最も多く、次いで「正社員以外(アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇い等)」22.2%、「正社員」20.6%の順となっている。

年齢別にみると、“18～39歳”で「正社員」、「40～64歳」と“65歳以上”で「自営業(家の仕事の手伝いを含む)」が最も多くなっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”で「自営業(家の仕事の手伝いを含む)」、「知的障がい者」と“精神障がい者”で「施設や作業所で仲間と働いている」が最も多くなっている。



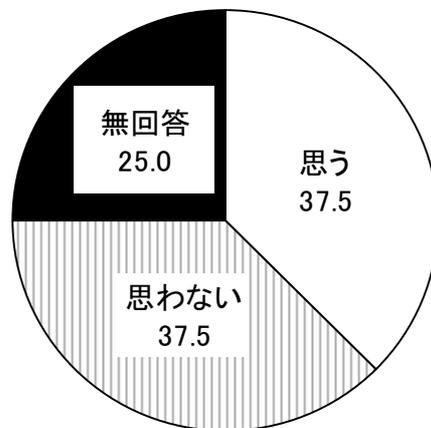
- 正社員
- 正社員以外(アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇い等)
- 自営業(家の仕事の手伝いを含む)
- 施設や作業所で仲間と働いている
- その他
- 無回答

(3) 一般就労の希望について

問 25-2 問 25-1 で「4. 施設や作業所で仲間と働いている」に○をつけた方に、お聞きします。

あなたは、一般就労（問 25-1 の「1. 正社員」「2. 正社員以外」「3. 自営業」の仕事をしたと思いますか。（1つに○印）

施設や作業所で働いている 8 人について、一般就労をしたいかどうかについてみると、「思う」「思わない」ともに 37.5%となっている。

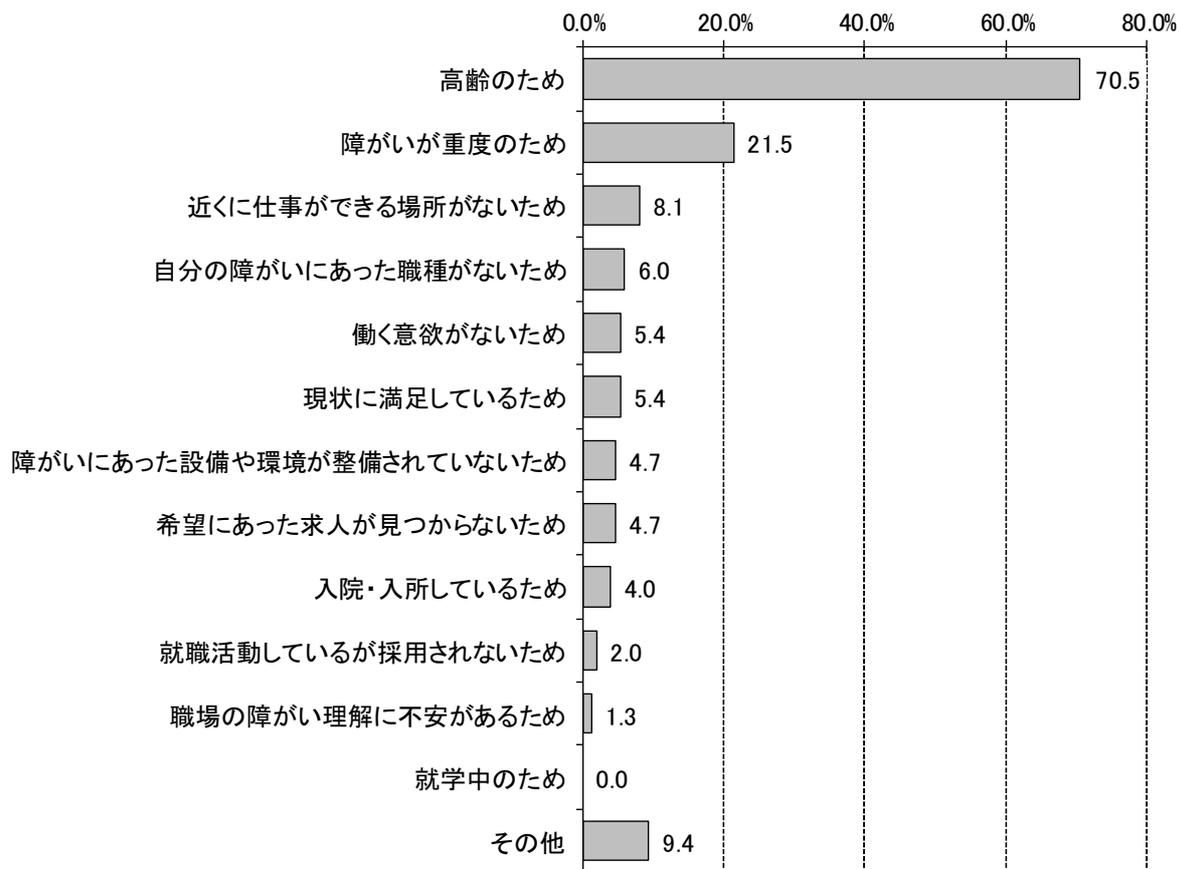


(n=8)

(4) 働いていない理由について

問 25-3 問 25 で「2. 働いていない」に○をつけた方に、お聞きします。
働いていない理由は何ですか。(主なもの3つまでに○印)

働いていない 149 人の働いていない理由についてみると、「高齢のため」が 70.5% と 7 割を占めており、次いで「障がいが重度のため」21.5%、「近くに仕事ができる場所がないため」8.1%の順となっている。



MA (n=149)

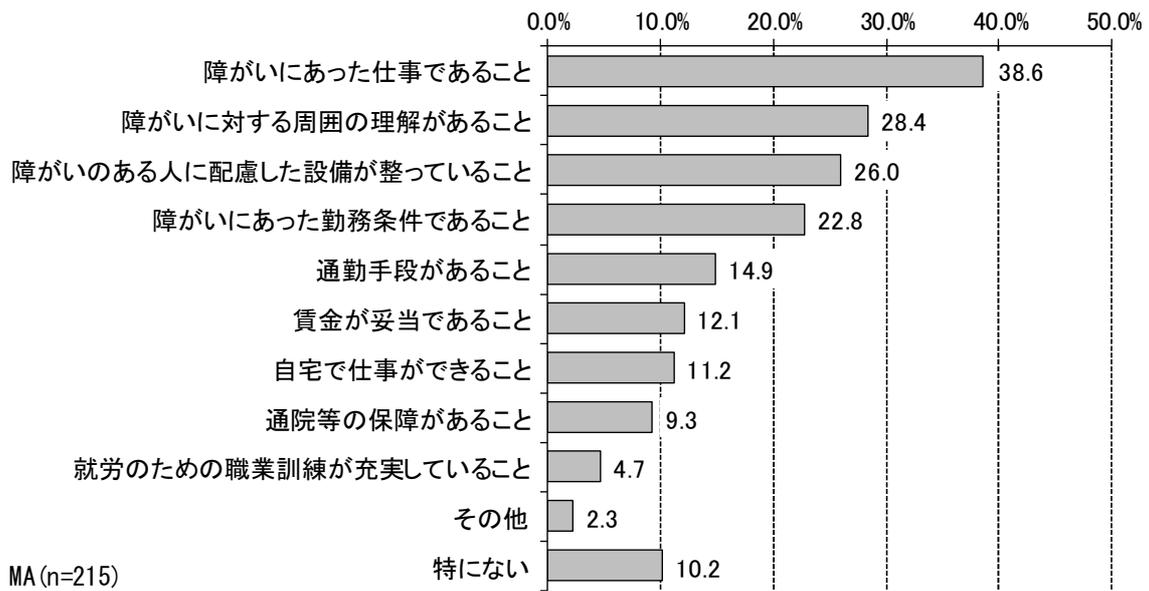
障がい別にみると、“身体障がい者”と“精神障がい者”で「高齢のため」、「知的障がい者」で「自分の障がいにあった職種がないため」が最も多くなっている。

	全体 (n)	障がい が重度 のため	高 齢の ため	自 分 の 障 が い に あ っ た 職 種 が な い た め	近 く に 仕 事 が で き る 場 所 が な い た め	職 場 の 障 が い 理 解 に 不 安 が あ る た め	障 が い に あ っ た 設 備 や 環 境 が 整 備 さ れ て い な い た め	希 望 に あ っ た 求 人 が 見 つ か ら な い た め	就 職 活 動 し て い る が 採 用 さ れ な い た め	働 く 意 欲 が な い た め	現 状 に 満 足 し て い る た め	入 院 ・ 入 所 し て い る た め	就 学 中 の た め	そ の 他
全体	149	21.5%	70.5%	6.0%	8.1%	1.3%	4.7%	4.7%	2.0%	5.4%	5.4%	4.0%	0.0%	9.4%
障 害 別	身体障がい者	141	22.0%	70.2%	5.7%	7.8%	0.7%	5.0%	2.1%	5.0%	5.7%	4.3%	0.0%	8.5%
	知的障がい者	5	40.0%	40.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	精神障がい者	4	50.0%	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(5) 障がい者が働く上で必要なことについて

問 26 あなたは、障がいのある人が働く上で、どのようなことが必要だと思いますか。現在、働いている方も働いていない方もお答えください。
(主なもの3つまでに○印)

障がい者が働く上で必要なことについてみると、「障がいにあった仕事であること」が38.6%で最も多く、次いで「障がいに対する周囲の理解があること」28.4%、「障がいのある人に配慮した設備が整っていること」26.0%の順となっている。



障がい別にみると、いずれも「障がいにあった仕事であること」が最も多くなっており（“精神障がい者”では「賃金が妥当であること」、「自宅で仕事ができること」も同率），“身体障がい者”で「障がいのある人に配慮した設備が整っていること」、「知的障がい者”で「通勤手段があること」と答えた方も多く、“精神障がい者”では「特にない」と答えた方が他と比べて多く、約4割を占めている。

	全体	障がい にあった 仕事で ある	障 が い に あ っ た 勤 務 条 件 で	賃 金 が 妥 当 で あ る こ と	障 が い に あ っ た 人 に こ の 設 備 が あ る こ と	通 勤 手 段 が あ る こ と	自 宅 で し っ た こ と	障 が い に あ っ た 人 に こ の 理 解 が あ る こ と	通 院 等 の 保 障 が あ る こ と	就 労 の た め の 職 業 訓 練 が 充 つ て い る こ と	そ の 他	特 に な い
全体	215	38.6%	22.8%	12.1%	26.0%	14.9%	11.2%	28.4%	9.3%	4.7%	2.3%	10.2%
障 が い 別												
身体障がい者	192	39.1%	22.9%	11.5%	27.6%	13.5%	10.4%	28.1%	9.9%	4.7%	1.6%	9.9%
知的障がい者	16	62.5%	12.5%	12.5%	18.8%	37.5%	12.5%	31.3%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%
精神障がい者	7	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%

7. 通院状況について

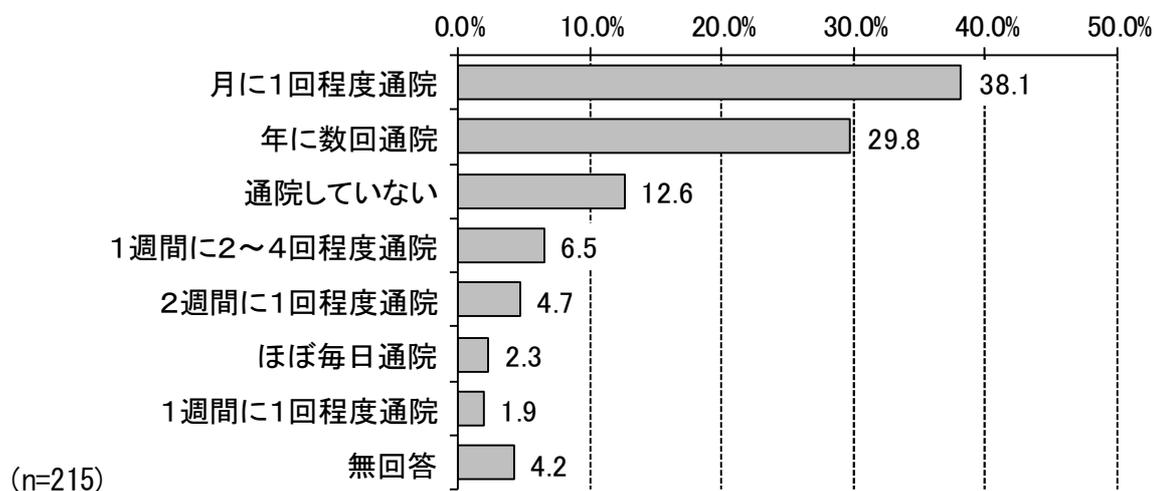
(1) 通院（リハビリ）の有無について

問 27 あなたは、現在、通院（リハビリを含む）していますか。（1つに○印）

通院（リハビリを含む）頻度についてみると、「月に1回程度通院」が38.1%で最も多く、次いで「年に数回通院」29.8%、「通院していない」12.6%の順となっている。

年齢・障がい別にみると、“40歳以上”で「月に1回程度通院」が最も多く、“18～39歳”は「年に数回通院」が最も多くなっている。

また、「通院していない」と答えた方は“18～39歳”と“精神障がい者”で約3割を占めている。



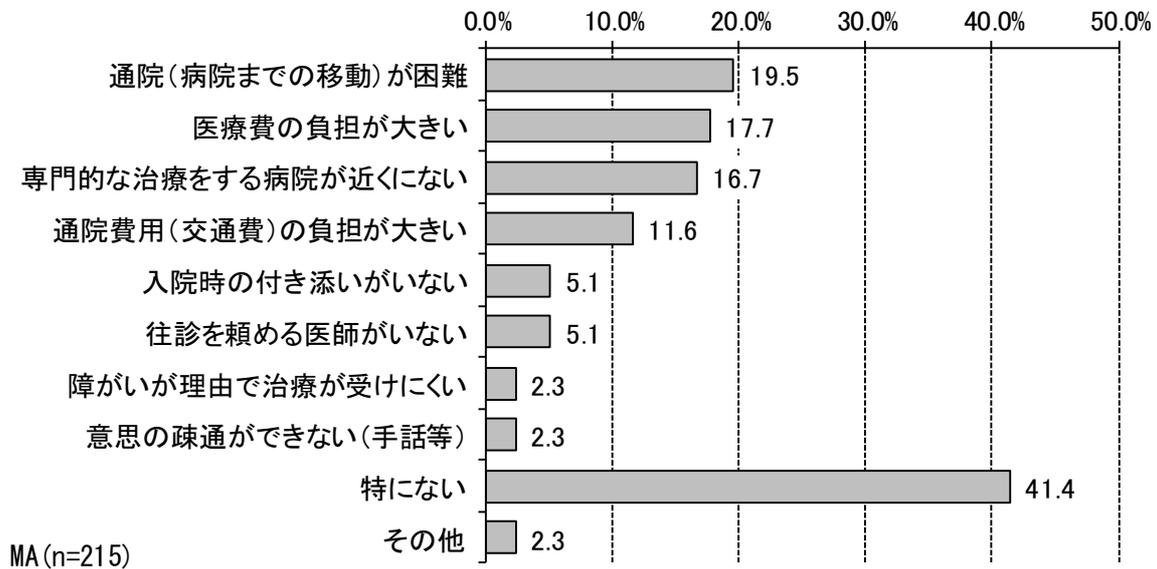
		全体	年に数回通院	月に1回程度通院	院2週間に1回程度通院	院1週間に1回程度通院	度1週間に2～4回程	ほぼ毎日通院	通院していない	無回答
全体		215	29.8%	38.1%	4.7%	1.9%	6.5%	2.3%	12.6%	4.2%
年齢別	18～39歳	16	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	6.3%
	40～64歳	51	21.6%	39.2%	3.9%	2.0%	9.8%	2.0%	19.6%	2.0%
	65歳以上	143	30.8%	39.9%	5.6%	2.1%	6.3%	2.8%	8.4%	4.2%
障がい別	身体障がい者	192	29.2%	38.0%	5.2%	2.1%	7.3%	2.6%	12.0%	3.6%
	知的障がい者	16	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%
	精神障がい者	7	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%

(2) 医療を受ける上で困っていることについて

問 28 医療を受ける上で困っていることはありますか。(主なもの3つまでに○印)

医療を受ける上で困っていることについてみると、「通院(病院までの移動)が困難」が19.5%で最も多く、次いで「医療費の負担が大きい」17.7%、「専門的な治療をする病院が近くにない」16.7%の順となっている。また、「特にない」と答えた方は約4割を占めている。

障がい別にみると、いずれも「通院(病院までの移動)が困難」が最も多く(“精神障がい者”では「専門的な治療をする病院が近くにない」も同率)、“身体障がい者”で「専門的な治療をする病院が近くにない」も多く、“知的障がい者”で「特にない」が半数以上を占めている。



	全体	医療費の負担が大きい	通院費用(交通費)の負担が大きい	通院(病院までの移動)が困難	入院時の付き添いがいない	専門的な治療をする病院が近くにない	往診を頼める医師がいない	受けにくい理由で治療が受けにくい	意思の疎通ができない(手話等)	その他	特にない	
全体	215	17.7%	11.6%	19.5%	5.1%	16.7%	5.1%	2.3%	2.3%	2.3%	41.4%	
障がい別	身体障がい者	192	16.7%	12.5%	20.8%	5.2%	17.2%	5.7%	2.6%	2.6%	1.6%	40.6%
	知的障がい者	16	12.5%	0.0%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	56.3%
	精神障がい者	7	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%

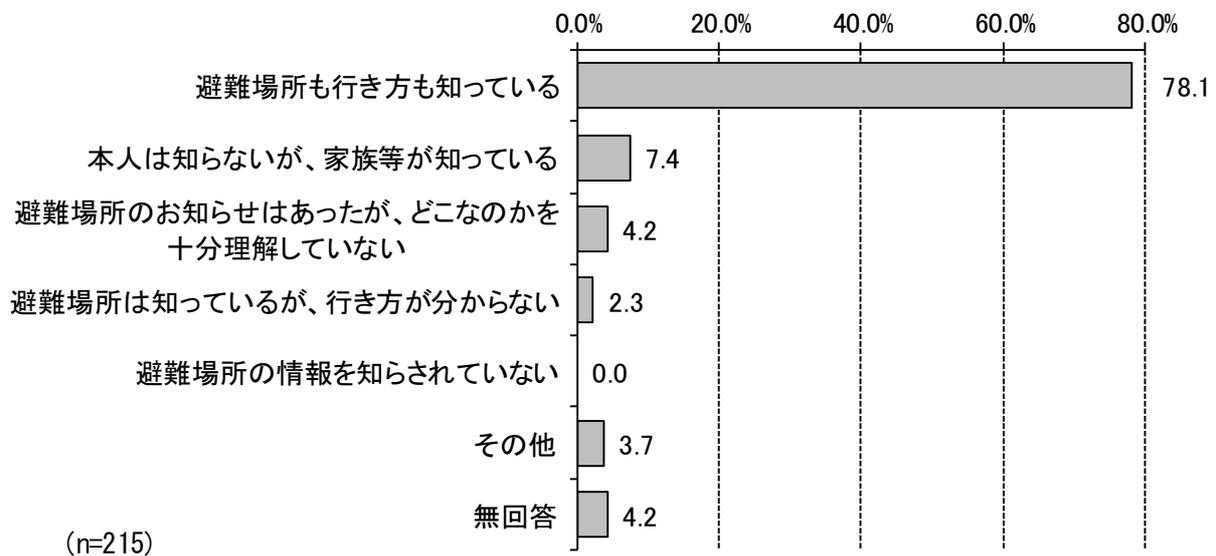
8. 防災について

(1) 避難場所やルートへの認知について

問 29 あなたは、避難場所や、避難場所への行き方を知っていますか。(1つに○印)

避難場所や避難場所への行き方の認知についてみると、「避難場所も行き方も知っている」が78.1%で最も多く、次いで「本人は知らないが、家族等が知っている」7.4%の順となっている。

障がい別にみると、“精神障がい者”で「避難場所のお知らせはあったが、どこなのかを十分理解していない」と答えた方が約3割と、他に比べて多くなっている。



	全体	て避難場所も行き方も知っている	が、難行場所は分かっていない	れ避難場所の情報を知らさない	十分理解し、どこなのかは	等本人は知らないが、家族	その他	無回答
全体	215	78.1%	2.3%	0.0%	4.2%	7.4%	3.7%	4.2%
障がい別	身体障がい者	192	78.6%	2.1%	0.0%	3.1%	7.3%	4.7%
	知的障がい者	16	68.8%	6.3%	0.0%	0.0%	18.8%	6.3%
	精神障がい者	7	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%

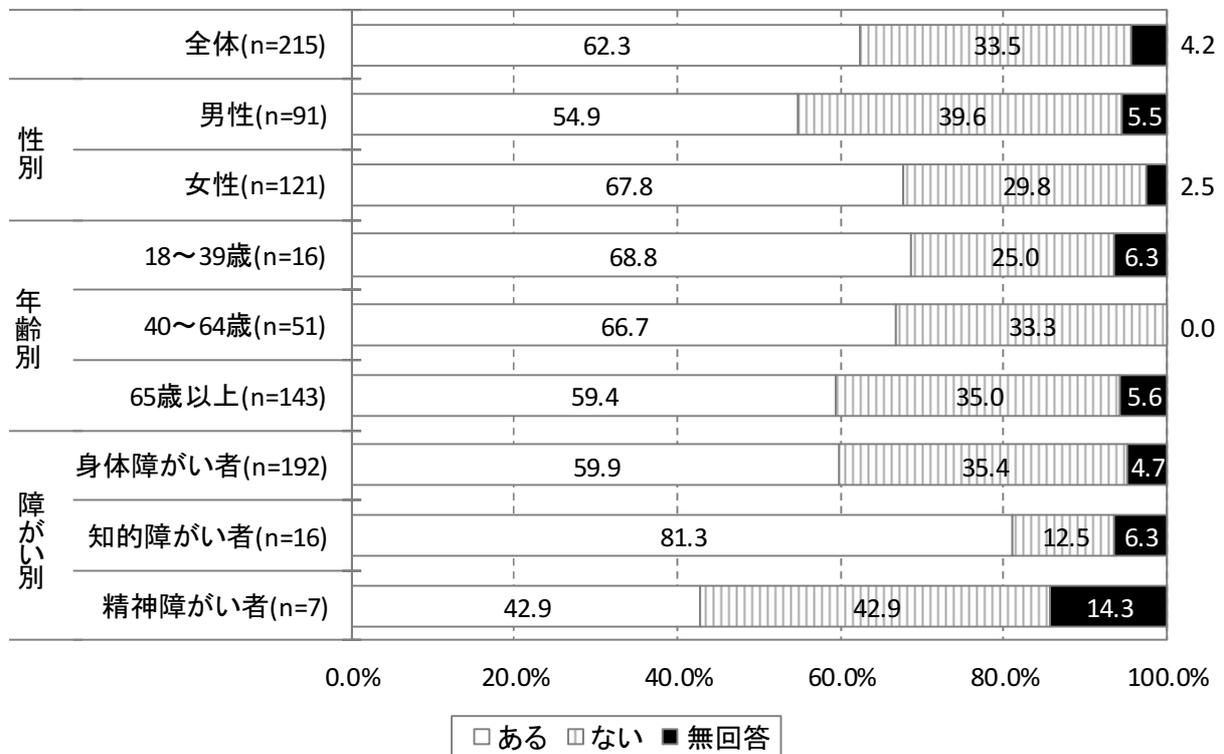
(2) 最近1年間の避難訓練への参加有無について

問 30 あなたは、最近1年間に避難訓練に参加したことがありますか。
 (1つに○印) ※ないと答えた方は理由をお書き下さい

最近1年間の避難訓練への参加有無についてみると、「ある」62.3%、「ない」33.5%となっている。

性別に参加したことが「ある」方をみると“男性”(54.9%)より“女性”(67.8%)に多く、年齢別にみると“18~39歳”、“40~64歳”で約7割を占めており、障がい別にみると“知的障がい者”で81.3%と最も多く、「ない」方をみると、“精神障がい者”で42.9%と、唯一40%を超えている。

また、参加しない理由についてみると、「一人で参加するのは無理」、「歩行困難」、「高齢のため」、「寝たきり生活のため」、「入院中」などがあがっている。



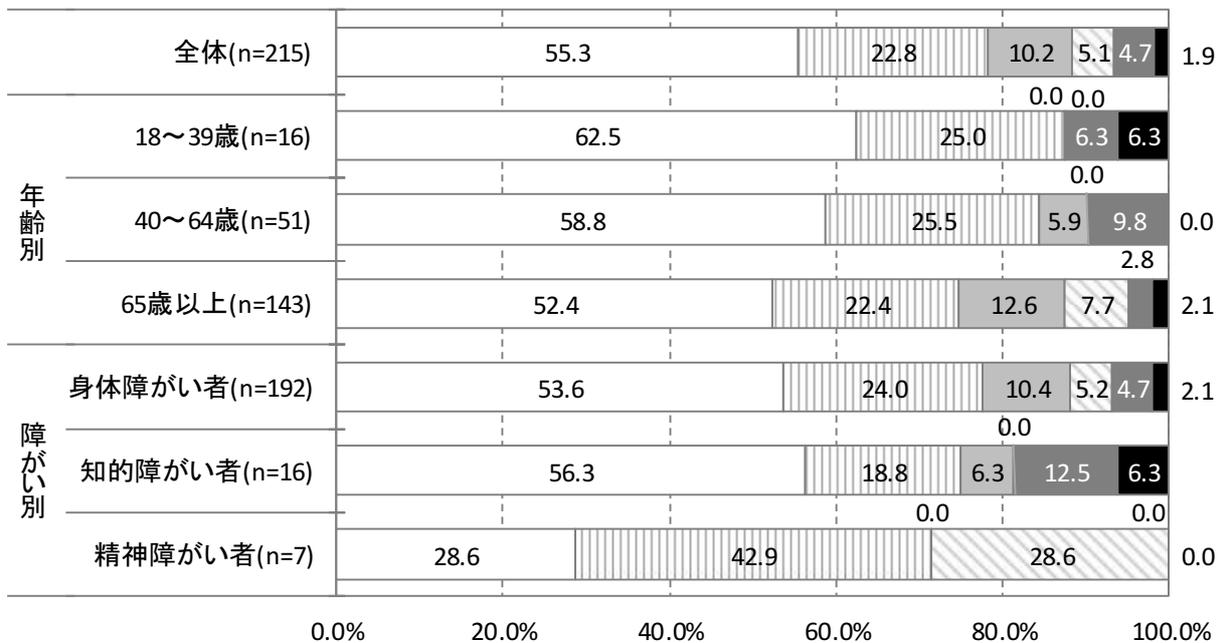
(3) 自力避難の可否について

問 31 災害等の緊急事態が発生した場合、あなたはひとりで避難できると思いますか。
(1つに○印)

ひとりで避難できるかについてみると、「ひとりで避難できる」が 55.3%で最も多く、次いで「ひとりでは避難できないが、家族の介助で避難できる」22.8%、「ひとりでは避難できないが、支援をしてくれる人がいるため避難できる」10.2%の順となっている。

年齢別にみると、「ひとりで避難できる」と答えた方はいずれの年代でも50%を超えており、年齢が低いほど多く、“18～39歳”で62.5%と最も多くなっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”と“知的障がい者”で50%を超えているものの、“精神障がい者”では28.6%と約半数となっている。また、「ひとりでは避難できず、支援してくれる人もいない」は28.6%と、約3割を占めている。



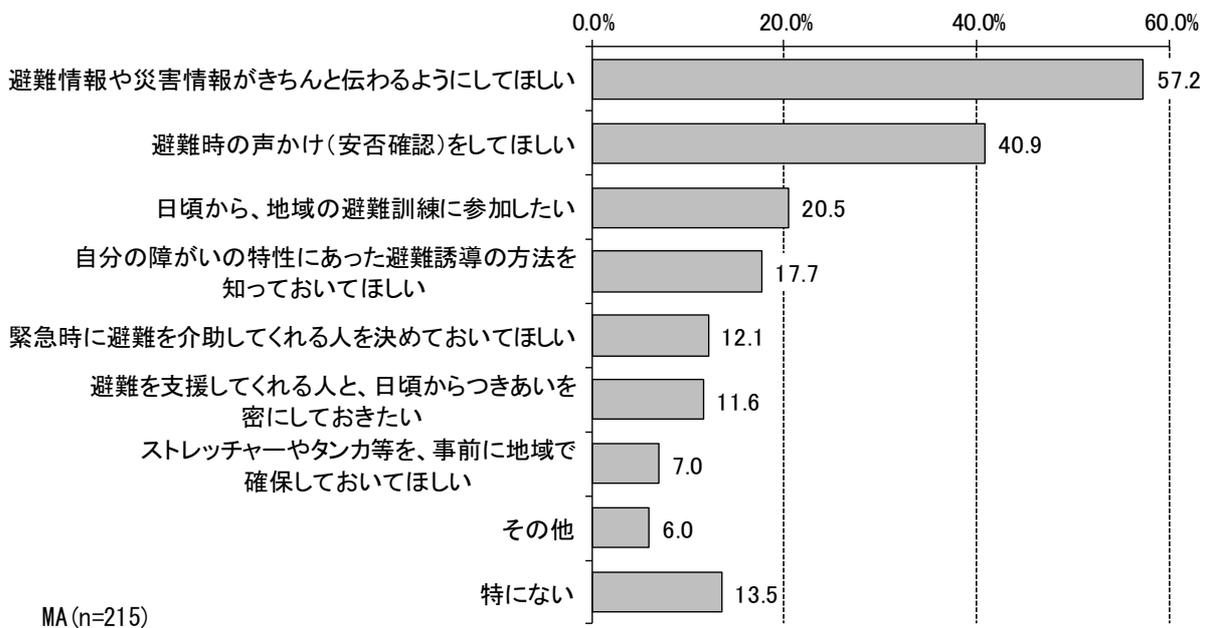
- ひとりで避難できる
- ▨ ひとりでは避難できないが、家族の介助で避難できる
- ひとりでは避難できないが、支援をしてくれる人がいるため避難できる
- ▨ ひとりでは避難できず、支援してくれる人もいない
- その他
- 無回答

(4) 災害発生時の避難希望について

問 32 災害が発生した場合の避難について、あなたが希望することは何ですか。
(あてはまるものすべてに○印)

災害発生時の避難について希望することをみると、「避難情報や災害情報がきちんと伝わるようにしてほしい」が57.2%と最も多く、唯一半数を超えており、次いで「避難時の声かけ(安否確認)をしてほしい」40.9%、「日頃から、地域の避難訓練に参加したい」20.5%の順となっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”では「避難情報や災害情報がきちんと伝わるようにしてほしい」、「知的障がい者」と“精神障がい者”で「避難時の声かけ(安否確認)をしてほしい」が最も多くなっている。

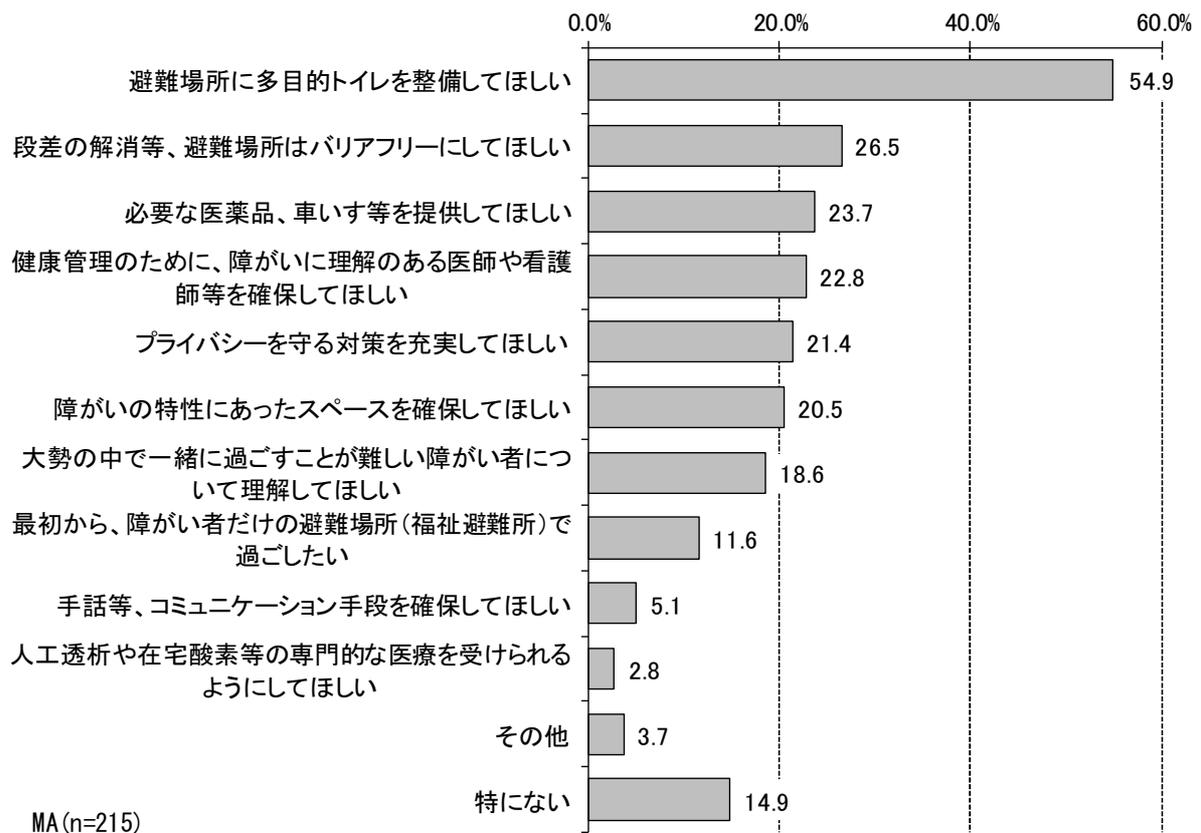


	全体	避難情報や災害情報がきちんと伝わるようにしてほしい	避難時の声かけ(安否確認)をしてほしい	緊急時に避難を介助してくれる人を決めておいてほしい	避難を支援してくれる人と、日頃からつきあいを密にしておきたい	自分の障がいの特性にあった避難誘導の方法を知っておいてほしい	ストレッチャーやタンカ等を、事前に地域で確保しておいてほしい	日頃から、地域の避難訓練に参加したい	その他	特になし
全体	215	57.2%	40.9%	12.1%	11.6%	17.7%	7.0%	20.5%	6.0%	13.5%
身体障がい者	192	56.3%	40.1%	12.0%	11.5%	17.2%	7.8%	19.3%	5.7%	14.1%
知的障がい者	16	62.5%	75.0%	6.3%	25.0%	18.8%	0.0%	31.3%	6.3%	0.0%
精神障がい者	7	42.9%	57.1%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%

(5) 避難場所で支援してほしいことについて

問 33 災害が発生した場合、避難場所について、あなたが支援してほしいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

災害発生時の避難場所について支援してほしいことをみると、「避難場所に多目的トイレを整備してほしい」が54.9%で最も多く、次いで「段差の解消等、避難場所はバリアフリーにしてほしい」26.5%、「必要な医薬品、車いす等を提供してほしい」23.7%の順となっている。



障がい別にみると、いずれも「避難場所に多目的トイレを整備してほしい」が最も多く（“精神障がい者”では「最初から、障がい者だけの避難場所（福祉避難所）で過ごしたい」も同率），“知的障がい者”と“精神障がい者”では「プライバシーを守る対策を充実してほしい」や「最初から、障がい者だけの避難場所（福祉避難所）で過ごしたい」と答えた方が多くなっている。

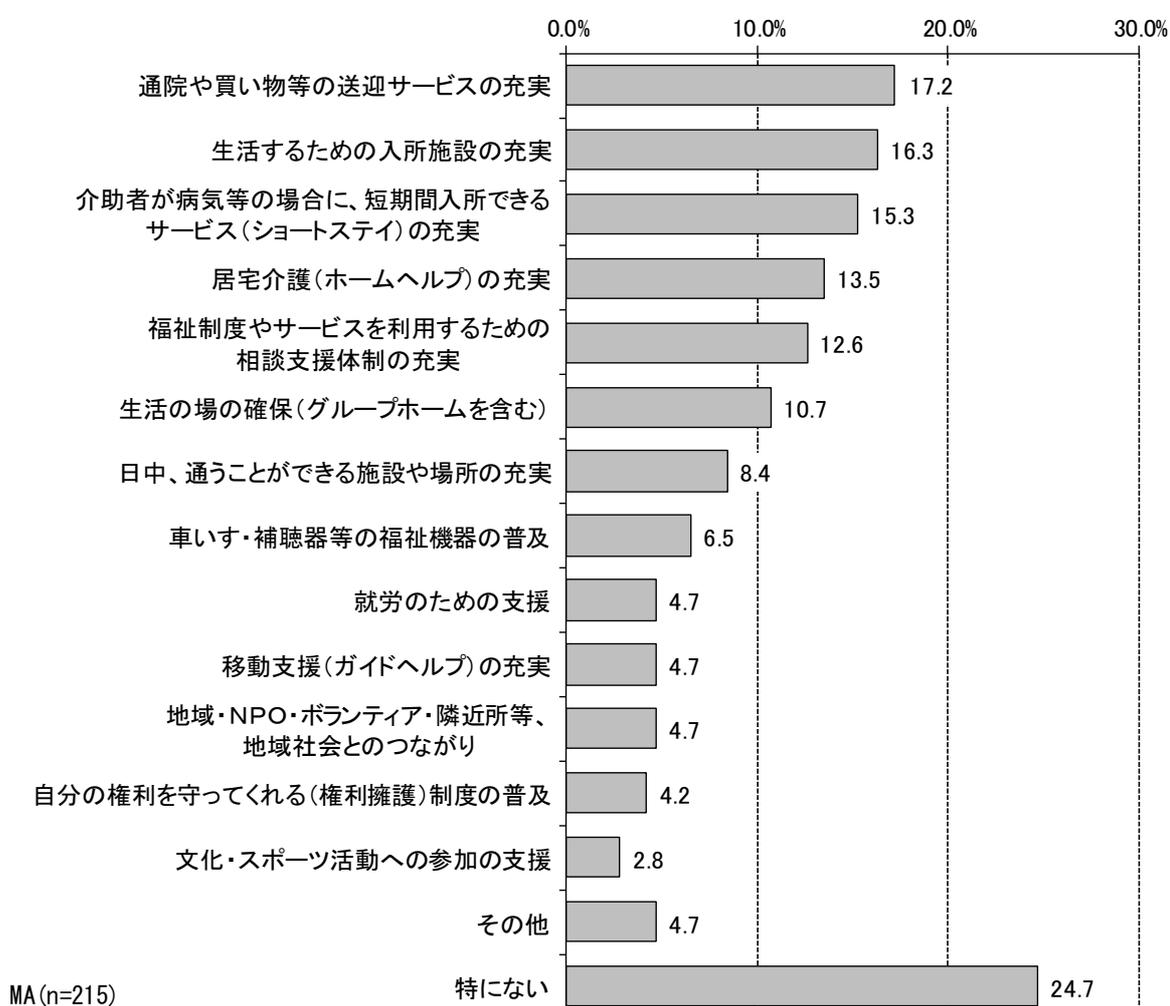
	全体	段差の解消等、避難場所はバリアフリーにしたい	避難場所に多目的トイレを整備してほしい	人工透析や在宅酸素等の専門的な医療を受けられるようにしてほしい	健康管理のために、障がい理解のある医師や看護師等を確保してほしい	必要な医薬品、車いす等を提供してほしい	手話等、コミュニケーション手段を確保してほしい	プライバシーを守る対策を充実してほしい	大勢の中で一緒に過ごすことが難しい障がい者について理解してほしい	障がいの特性にあったスペースを確保してほしい	最初から、障がい者だけの避難場所（福祉避難所）で過ごしたい	その他	特になし	
全体	215	26.5%	54.9%	2.8%	22.8%	23.7%	5.1%	21.4%	18.6%	20.5%	11.6%	3.7%	14.9%	
障がい別	身体障がい者	192	28.1%	54.7%	3.1%	22.9%	24.5%	5.2%	18.8%	18.8%	20.8%	10.9%	3.1%	16.1%
	知的障がい者	16	37.5%	62.5%	6.3%	25.0%	12.5%	6.3%	43.8%	25.0%	37.5%	31.3%	6.3%	0.0%
	精神障がい者	7	14.3%	42.9%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	14.3%

9. 福祉サービスや支援について

(1) 必要な支援やサービスについて

問 34 あなたが毎日の生活を送る上で、特に必要な支援やサービスは、次のどれですか。
(主なもの3つまでに○印)

毎日の生活を送る上で必要な支援やサービスについてみると、「通院や買い物等の送迎サービスの充実」が17.2%で最も多く、次いで「生活するための入所施設の充実」16.3%、「介助者が病気等の場合に、短期間入所できるサービス(ショートステイ)の充実」15.3%の順となっている。また、「特にない」と答えた方も25%程度を占めている。



年齢別にみると、“18～39歳”で「生活の場の確保（グループホームを含む）」、“40～64歳”で「福祉制度やサービスを利用するための相談支援体制の充実」、「65歳以上」で「通院や買い物等の送迎サービスの充実」を望む声が最も多くなっている。

また、年齢が低いほど「日中、通うことができる施設や場所の充実」、「就労のための支援」、「自分の権利を守ってくれる（権利擁護）制度の普及」と答えた方も多く、年齢が高いほど「居宅介護（ホームヘルプ）の充実」と答えた方も多くなっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”で「通院や買い物等の送迎サービスの充実」、「知的障がい者」で「生活するための入所施設の充実」、「精神障がい者」で「車いす・補助器等の福祉機器の普及」と「自分の権利を守ってくれる（権利擁護）制度の普及」がともに最も多くなっている。

	全体	生活の場の確保（グループホームを含む）	生活するための入所施設の充実	居宅介護（ホームヘルプ）の充実	介助者が病気等の場合に、短期間入所できるサービス（ショートステイ）の充実	日中、通うことができる施設や場所の充実	就労のための支援	移動支援（ガイドヘルプ）の充実	通院や買い物等の送迎サービスの充実	車いす・補聴器等の福祉機器の普及	地域・NPO・ボランティア・隣近所等、地域のつながり	自分の権利を守ってくれる（権利擁護）制度の普及	文化・スポーツ活動への参加の支援	福祉制度やサービスを利用するための相談支援体制の充実	その他	特になし	
全体	215	10.7%	16.3%	13.5%	15.3%	8.4%	4.7%	4.7%	17.2%	6.5%	4.7%	4.2%	2.8%	12.6%	4.7%	24.7%	
年齢別	18～39歳	16	25.0%	18.8%	0.0%	12.5%	18.8%	18.8%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	37.5%
	40～64歳	51	13.7%	13.7%	7.8%	11.8%	3.9%	9.8%	5.9%	11.8%	7.8%	5.9%	3.9%	15.7%	3.9%	29.4%	
	65歳以上	143	7.7%	16.8%	16.8%	17.5%	8.4%	1.4%	4.2%	18.9%	6.3%	4.9%	2.1%	2.1%	12.6%	5.6%	22.4%
障がい別	身体障がい者	192	9.4%	15.1%	15.1%	16.1%	7.3%	3.1%	5.2%	17.2%	7.3%	4.2%	3.1%	2.6%	12.5%	4.2%	24.5%
	知的障がい者	16	31.3%	37.5%	6.3%	18.8%	18.8%	12.5%	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	18.8%
	精神障がい者	7	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%

(2) 黒潮町の暮らしやすさについて

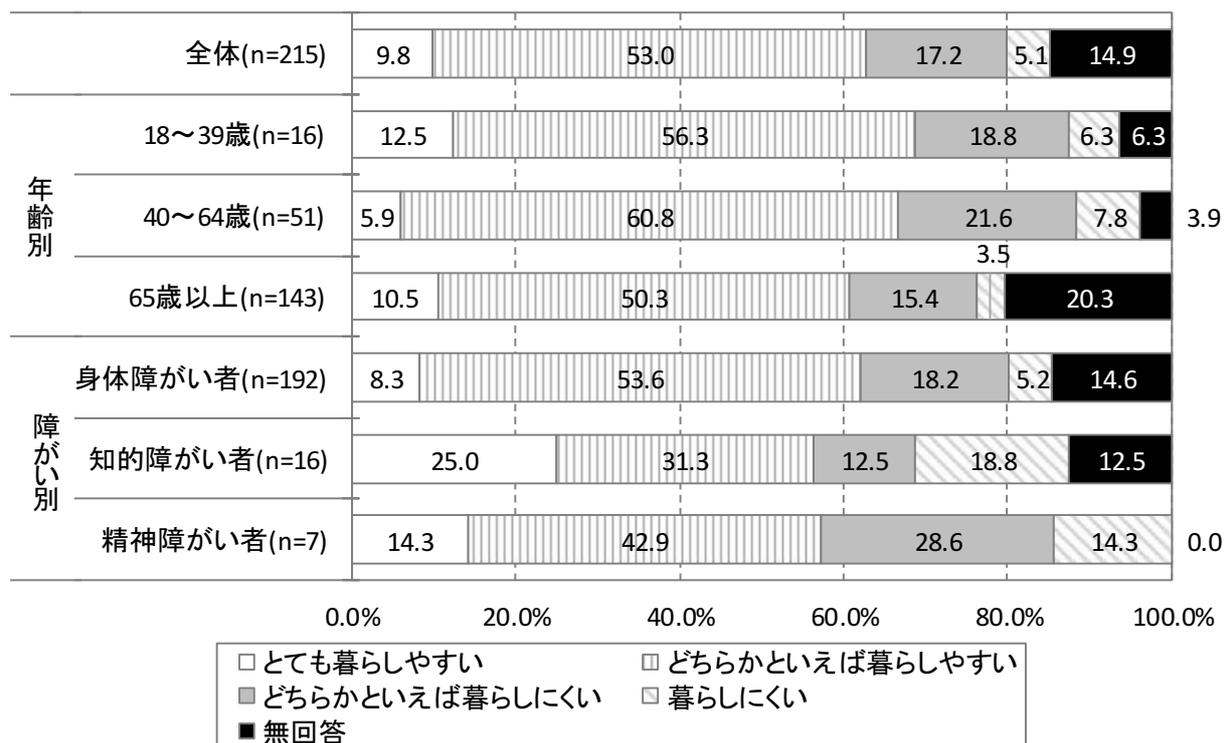
問 35 あなたは、障がい者にとって、黒潮町は暮らしやすいまちだと思いますか。
(1つに○印)

障がい者にとって黒潮町は暮らしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらかといえば暮らしやすい」が53.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば暮らしにくい」17.2%、「とても暮らしやすい」9.8%の順となっている。

「とても暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』は62.8%に対して、「どちらかといえば暮らしにくい」と「暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい』は22.3%となっており、概ね6割の方が『暮らしやすい』と感じていることがわかる。

年齢別にみると、年齢が低いほど『暮らしやすい』と答えた方が多くなっている。

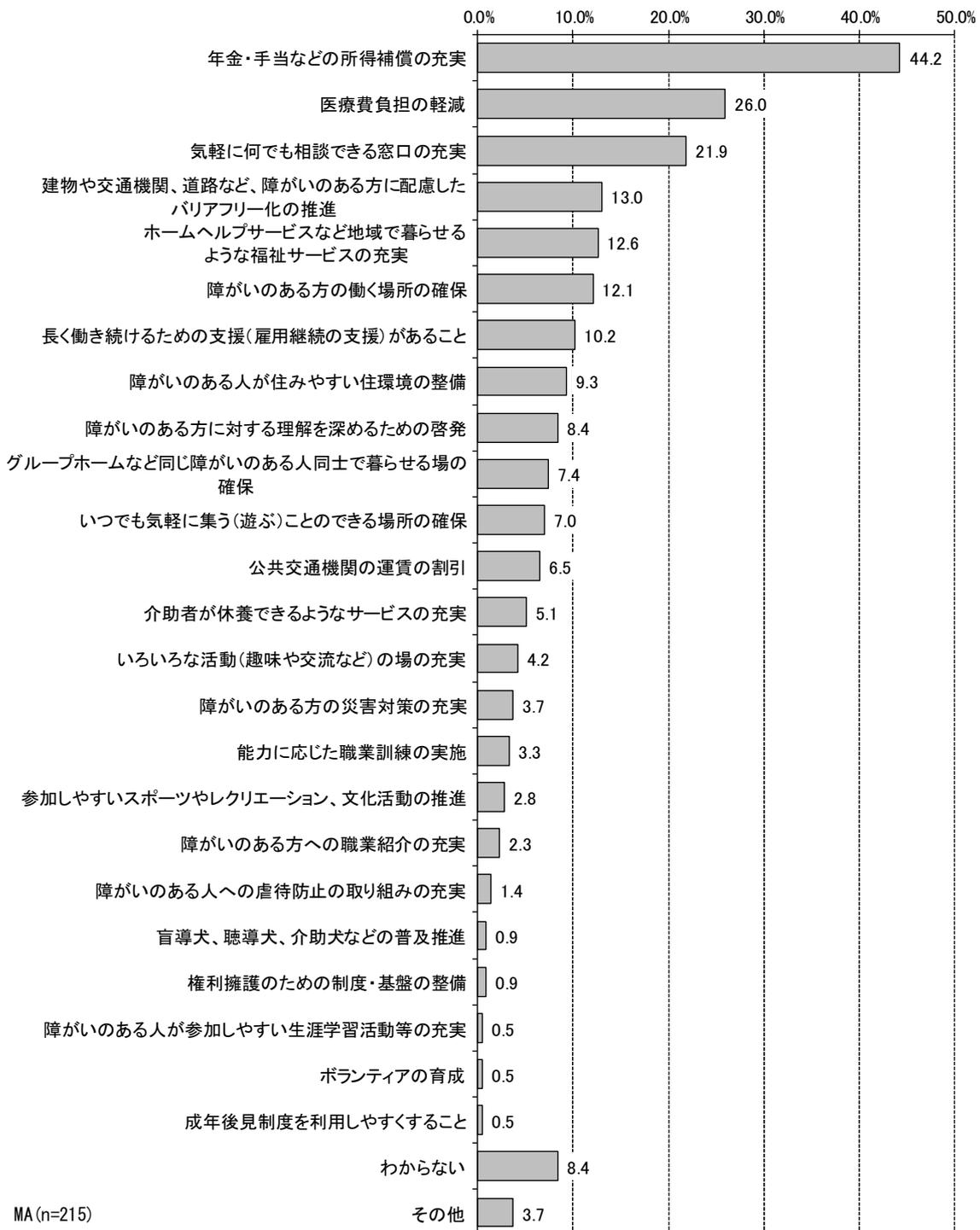
障がい別にみると『暮らしやすい』と答えた方は“身体障がい者”に多くなっているが、“知的障がい者”と“精神障がい者”では『暮らしにくい』と答えた方が多くなっており、特に“精神障がい者”は42.9%と、唯一4割を超えている。



(3) 暮らしやすいまちにする為の支援やサービスについて

問 36 あなたは今後黒潮町を暮らしやすいまちにする為、どのような支援やサービス（仕組み）が必要だと思いますか。（主なもの3つまでに○印）

障がい者にとって今後黒潮町を暮らしやすいまちにするために必要な支援やサービスについてみると、「年金・手当などの所得補償の充実」が44.2%で最も多く、次いで「医療費負担の軽減」26.0%、「気軽に何でも相談できる窓口の充実」21.9%の順となっている。



年齢・障がい別にみると、“精神障がい者”を除くといずれも「年金・手当などの所得補償の充実」が最も多く、“精神障がい者”では「長く働き続けるための支援（雇用継続の支援）があること」、「気軽に何でも相談できる窓口の充実」がともに最も多くなっている。

また、年齢が低いほど「長く働き続けるための支援（雇用継続の支援）があること」、「障がいのある方の災害対策の充実」、年齢が高いほど「建物や交通機関、道路など、障がいのある方に配慮したバリアフリー化の推進」、「ホームヘルプサービスなど地域で暮らせるような福祉サービスの充実」、「身体障がい者」に比べると“知的障がい者”と“精神障がい者”では「グループホームなど同じ障がいのある人同士で暮らせる場の確保」と答えた方も多くなっている。

	全体	年金・手当などの所得補償の充実	医療費負担の軽減	障がいのある方に対する理解を深めるための啓発	障がいのある方の働く場所の確保	障がいのある方への職業紹介の充実	と（雇用継続の支援）があること	長く働き続けるための支援	能力に応じた職業訓練の実施	障がいのある方に配慮したバリアフリー化の推進	建物や交通機関、道路など、障がいのある方に配慮したバリアフリー化の推進	障がいのある方の災害対策の充実	障がいのある方の災害対策の充実	公共交通機関の運賃の割引	障がいのある人が住みやすい環境の整備	障がいのある人同士の暮らせる場の確保	ホームヘルプサービスなど福祉サービスなど地域の確保
全体	215	44.2%	26.0%	8.4%	12.1%	2.3%	10.2%	3.3%	13.0%	21.9%	3.7%	6.5%	9.3%	12.6%			
年齢別	18～39歳	16	37.5%	0.0%	12.5%	12.5%	6.3%	25.0%	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	12.5%	6.3%		
	40～64歳	51	51.0%	31.4%	15.7%	21.6%	0.0%	15.7%	2.0%	7.8%	25.5%	5.9%	9.8%	11.8%	11.8%		
	65歳以上	143	42.7%	26.6%	5.6%	8.4%	2.8%	7.0%	4.2%	16.1%	21.7%	1.4%	5.6%	7.0%	14.0%		
障がい別	身体障がい者	192	44.8%	27.1%	8.9%	10.9%	2.6%	8.9%	3.1%	14.6%	20.8%	3.1%	6.3%	8.9%	13.5%		
	知的障がい者	16	43.8%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	12.5%	6.3%	6.3%	18.8%	6.3%	6.3%	12.5%	6.3%		
	精神障がい者	7	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

	グループホームなど同じ障がいのある人同士で暮らせる場の確保	介護者が休養できるようなサービスの充実	いろいろな活動（趣味や交流など）の場の充実	いつでもできる場所の確保（遊ぶこと）	ボランティアの育成	障がいのある人への虐待防止の取り組みの充実	障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等の充実	障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等の充実	盲導犬、聴導犬、介助犬などの普及推進	障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等の充実								
全体	7.4%	5.1%	4.2%	7.0%	0.5%	1.4%	0.5%	0.9%	2.8%	0.9%	0.5%	3.7%	8.4%					
年齢別	18～39歳	12.5%	0.0%	18.8%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	12.5%					
	40～64歳	5.9%	2.0%	7.8%	3.9%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	5.9%	7.8%					
	65歳以上	7.0%	7.0%	1.4%	7.0%	0.7%	1.4%	0.7%	0.7%	2.1%	0.0%	3.5%	8.4%					
障がい別	身体障がい者	6.8%	5.7%	3.1%	7.3%	0.5%	1.0%	0.5%	1.0%	2.6%	0.5%	3.6%	7.8%					
	知的障がい者	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%					
	精神障がい者	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%					

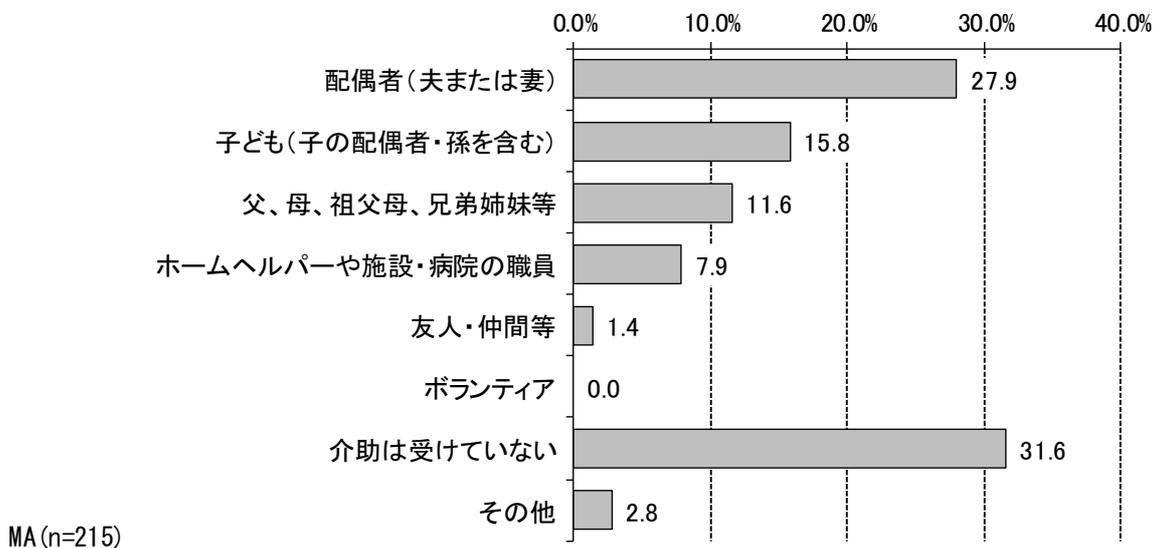
10. ご家族について

(1) 介助者について

問 37 ふだん、あなたの介助をしているのは、どなたですか。
(あてはまるものすべてに○印)

介助者についてみると、「配偶者（夫または妻）」が27.9%で最も多く、次いで「子ども（子の配偶者・孫を含む）」15.8%、「父、母、祖父母、兄弟姉妹等」11.6%の順となっており、家族による介助が多くなっている。

また、「介助は受けていない」と答えた方も約3割を占めている。



年齢別にみると、“18～39歳”と“40～64歳”で「父、母、祖父母、兄弟姉妹等」、「65歳以上」で「配偶者（夫または妻）」が最も多くなっている。また、“18～39歳”で「介助は受けていない」が唯一50%を超えており、“65歳以上”では「子ども（子の配偶者・孫を含む）」と答えた方も多くなっている。

障がい別にみると、“身体障がい者”で「配偶者（夫または妻）」、“知的障がい者”と“精神障がい者”で「父、母、祖父母、兄弟姉妹等」が最も多くなっている。

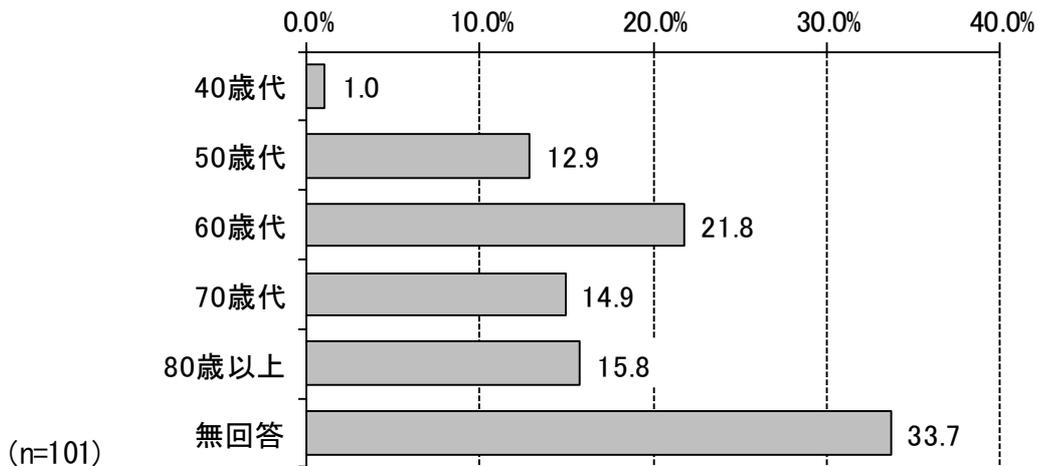
		全体	父、母、祖父母、兄弟姉妹等	配偶者（夫または妻）	子ども（子の配偶者・孫を含む）	友人・仲間等	ボランティア	ホームヘルパーや施設・病院の職員	その他	介助は受けていない
全体		215	11.6%	27.9%	15.8%	1.4%	0.0%	7.9%	2.8%	31.6%
年齢別	18～39歳	16	37.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	40～64歳	51	23.5%	13.7%	7.8%	2.0%	0.0%	11.8%	5.9%	49.0%
	65歳以上	143	4.2%	35.7%	21.0%	0.7%	0.0%	7.7%	2.1%	24.5%
障がい別	身体障がい者	192	10.9%	30.2%	17.2%	1.0%	0.0%	7.3%	2.1%	31.8%
	知的障がい者	16	37.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%
	精神障がい者	7	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%

(2) 介助者の年齢について

※問 38 から 40 までは、主な介助者の方がお答えください。（介助者がボランティア、ホームヘルパー、施設・病院の職員等の場合は問 41 にお進みください）

問 38 介助者の方の年齢は、何歳ですか。（平成 29 年 10 月 1 日現在）

介助者 101 人について、平成 29 年 10 月 1 日時点の年齢をみると、「60 歳代」が 21.8%で最も多く、次いで「80 歳以上」15.8%、「70 歳代」14.9%の順となっており、回答者（「無回答」を除く）の 5 分の 4 が 60 歳以上となっている。



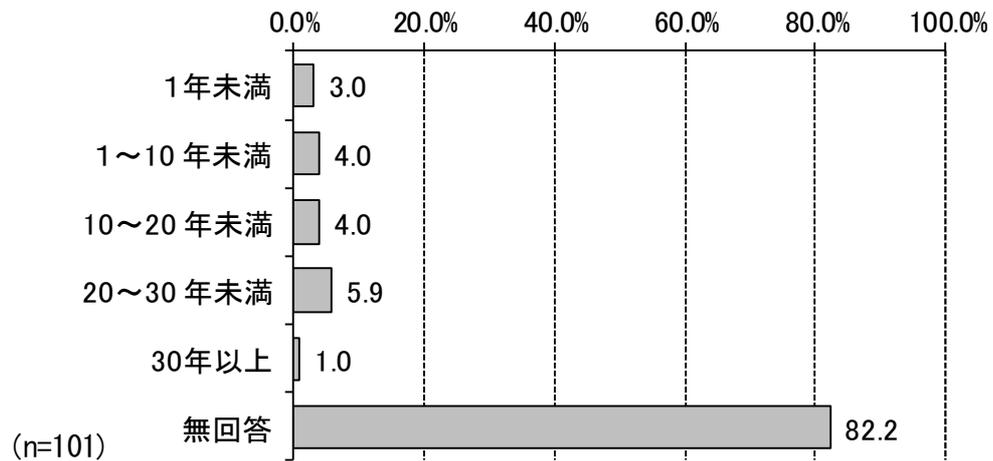
年齢・障がい別にみると、介助者の年齢はいずれも 50 歳代を境に増加しており、“18～39 歳”で「50 歳代」、「40～64 歳」と“65 歳以上”で「60 歳代」に最も多く、“身体障がい者”で「60 歳代」、「知的障がい者”で「50 歳代」、「精神障がい者”で「60 歳以上」で最も多くなっている。

		全体	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
全体		101	0.0%	0.0%	1.0%	12.9%	21.8%	14.9%	15.8%
年齢別	18～39歳	6	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	40～64歳	16	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	18.8%
	65歳以上	76	0.0%	0.0%	1.3%	9.2%	21.1%	18.4%	17.1%
障がい別	身体障がい者	94	0.0%	0.0%	1.1%	11.7%	22.3%	14.9%	14.9%
	知的障がい者	6	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	精神障がい者	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%

(3) 介助期間について

問 39 介助を始めてどれくらいですか。

介助期間についてみると、「20～30年未満」が5.9%で最も多く、次いで「1～10年未満」、「10～20年未満」がともに4.0%、「1年未満」3.0%の順となっている。



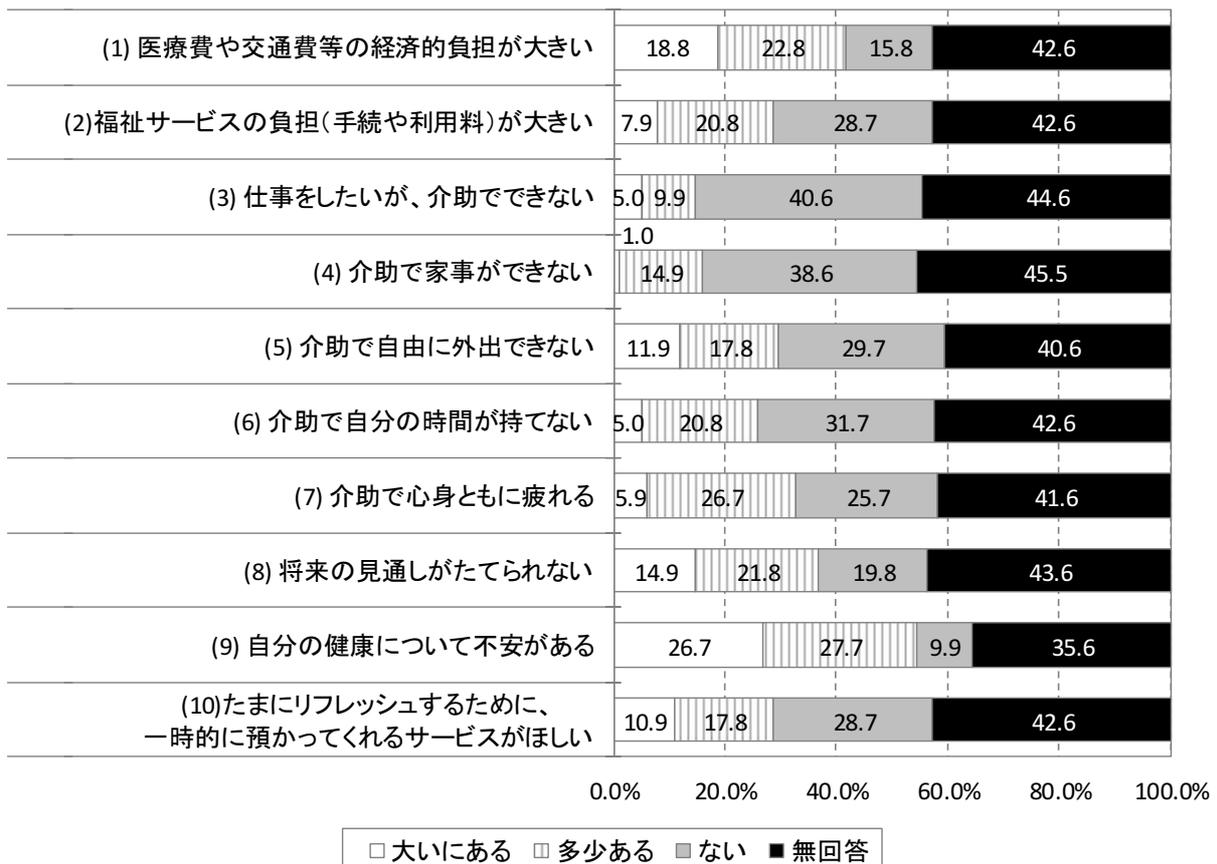
(3) 介助者の状況について

問 40 介助者として、次のうちあてはまるものは何ですか。(各項目ごとに1つに○印)

介助者の状況を以下の10項目についてみると、「大いにある」の割合が高いのは“(9)自分の健康について不安がある”が26.7%で最も多く、次いで“(1)医療費や交通費等の経済的負担が大きい”18.8%、“(8)将来の見通しがたてられない”14.9%の順となっている。

「大いにある」と「多少ある」を合わせた『ある』の割合が高いのは、“(9)自分の健康について不安がある”54.4%、“(1)医療費や交通費等の経済的負担が大きい”41.6%、“(8)将来の見通しがたてられない”36.7%、“(7)介助で心身ともに疲れる”32.6%の順となっており、これら4項目が3割を超えている。

逆に「ない」の割合が高いのは、“(3)仕事をしたいが、介助でできない”40.6%、“(4)介助で家事ができない”38.6%、“(6)介助で自分の時間が持てない”31.7%の順となっており、これら3項目が3割を超えている。



介助者別にみると、いずれも「(9)自分の健康について不安がある」が多数を占めているものの、“父、母、祖父母、兄弟姉妹等”と“配偶者（夫または妻）”は「(1)医療費や交通費等の経済的負担が大きい」、 “子ども（子の配偶者・孫を含む）”は「介助で心身ともに疲れる」と答えた方も多くなっている。

	父、母、祖父母、 兄弟姉妹等	配偶者 (夫または妻)	子ども(子の配偶 者・孫を含む)
(1) 医療費や交通費等の経済的負担が大きい	60.0	41.7	26.5
(2)福祉サービスの負担(手続や利用料)が大きい	36.0	28.3	20.6
(3) 仕事をしたいが、介助でできない	12.0	13.3	17.6
(4) 介助で家事ができない	4.0	21.7	14.7
(5) 介助で自由に外出できない	20.0	35.0	23.5
(6) 介助で自分の時間が持てない	20.0	28.3	23.5
(7) 介助で心身ともに疲れる	24.0	35.0	32.4
(8) 将来の見通しがたてられない	52.0	35.0	26.5
(9) 自分の健康について不安がある	64.0	56.7	41.2
(10)たまにリフレッシュするために、 一時的に預かってくれるサービスがほしい	32.0	28.3	23.5

Ⅲ. 保護者調査の結果

保護者のアンケート調査結果については、有効回答数が17件のため、集計表のみを掲載します。

1. 本人の状況等について

(1) 回答者

問1 お子さんからみたあなた（ご記入される方）の続柄をお教えてください。（1つに○印）					
全体	父親	母親	祖父母	その他	無回答
17	2	15	0	0	0
100.0	11.8	88.2	0.0	0.0	0.0

(2) 性別

問2 お子さんの性別はどちらですか。				
全体	男	女	その他	無回答
17	10	7	0	0
100.0	58.8	41.2	0.0	0.0

(3) 年齢

問3 お子さんの年齢は何歳ですか。（平成29年10月1日現在）					
全体	0	5	10	15	無回答
	5	5	5	5	
	4	9	14	17	
17	2	3	9	2	1
100.0	11.8	17.6	52.9	11.8	5.9

(4) お子さんの障がいについて

問4 1. 身体障害者手帳 等級は							
全体	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
17 100.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 82.4

問4 1. 身体障害者手帳 障がいの部位は							
全体	視覚障害	聴覚障害、 平衡機能障	音声・言語機能障害、 そしゃく機能障害	肢体不自由	臓・免疫機能障害 （腸、小腸、肝臓、呼吸器、ぼうこう）	内部障害（心臓、じん臓）	無回答
17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	2 11.8	15 88.2	

問4 2. 療育手帳の総合判定						
全体	A1	A2	B1	B2	無	無回答
17 100.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9	3 17.6	6 35.3	6 35.3

問4 3. 精神障害者保健福祉手帳					
全体	1級	2級	3級	無	無回答
17 100.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	7 41.2	9 52.9

問4 4. 特別児童扶養手当				
全体	1級	2級	無	無回答
17 100.0	1 5.9	12 70.6	0 0.0	4 23.5

問4 5. 難病の認定			
全体	受けている	受けていない	無回答
17 100.0	0 0.0	8 47.1	9 52.9

問4 6. 小児慢性特定疾患			
全体	受けている	受けていない	無回答
17 100.0	1 5.9	7 41.2	9 52.9

問4 7. 発達障がいの診断			
全体	受けている	受けていない	無回答
17 100.0	7 41.2	5 29.4	5 29.4

問4 8. 高次脳機能障がい診断			
全体	受けている	受けていない	無回答
17 100.0	0 0.0	8 47.1	9 52.9

(5) 平日日中の過ごし方について

問5 お子さんは、平日の日中、主にどこで過ごしていますか。(1つに○印)							
全体	保育所・幼稚園・学校	いる特別支援学校に通っている	小中高等学校の特別支援学級に通っている	自宅にいる	入所中・入院中	その他	無回答
17 100.0	10 58.8	2 11.8	4 23.5	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0

2. 発育上の心配ごと等について

(1) 発達障がいの診断・助言の有無について

問6 お子さんは、これまでに医師等から発達に障がいがあると診断・助言(疑いを含む)を受けたことがありますか。(1つに○印)			
全体	(ある疑いを含む)	ない	無回答
17 100.0	14 82.4	3 17.6	0 0.0

問6-1 問6で「1.ある(疑いを含む)」に○をつけた方にお聞きします。次のうち、該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

全体	スペル 閉症・ ルガ ー 症候群)	害 ・ 広汎 機 能 自閉 症、 ア自	自閉 症ス ペク トラ ム障 害	(注 意欠 如/ H D) 多動 性障 害	学 習障 害 (L D)	そ の 他	無 回 答
14 100.0	7 50.0	3 21.4	3 21.4	3 21.4	0 0.0		

問6-2 お子さんの発達の不安や障がい気づいたきっかけは何ですか。(1つに○印)

全体	家 族が 気づ いた	され た 健康 診 査)	定期 健診 (乳 幼 児 で 助 言 児	言 病 院 で 医 師 か ら 助 言	際 に 学 校 の 教 師 か ら 助 言 さ れ た	から 学 校 の 教 師 か ら 助 言 さ れ た	保 育 所 の 教 師 か ら 助 言 さ れ た	た 知 人 か ら 助 言 さ れ た	そ の 他	無 回 答
14 100.0	4 28.6	2 14.3	3 21.4	0 0.0	4 28.6	0 0.0	1 7.1	0 0.0		

問6-3 はじめて、お子さんの発達や障がい心配になった時のお子さんの年齢をお教えてください。(1つに○印)

全体	0 歳 〜 1 歳 6 ヶ 月	1 歳 7 か 月 〜 3 歳	4 歳 〜 6 歳	7 歳 〜 1 2 歳	1 3 歳 〜 1 7 歳	無 回 答
14 100.0	3 21.4	8 57.1	0 0.0	3 21.4	0 0.0	0 0.0

問6-4 お子さんの発達の不安や障がいにはじめて気づいた時、相談をした機関はどこですか。(1つに○印)									
全体	黒潮町役場	幡多福祉保健所や療育福祉センター	医療機関	保育所・幼稚園・学校	家族や友人、知人	自分で調べた	障害児者相談支援事業所 が・くろしお	その他	無回答
14 100.0	3 21.4	0 0.0	4 28.6	3 21.4	2 14.3	0 0.0	0 0.0	2 14.3	0 0.0

(2) 困っていることや不安に思っていることについて

問7 あなたは、現在、お子さんのことで困っていることや不安に思っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)																
全体	お子さんの育児や教育のこと	現在お子さんが受けている医療やリハビリのこと	現在お子さんが受けている援助(介護)のこと	医療費等の経済的なこと	お子さんの進学のこと	お子さんの就職のこと	交通機関が使いにくいこと	かかりつけの病院や歯科診療所がないこと	子育てや障がいについて必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	子育てや障がいについて必要事項を聞き取り、手をおぼろげにしていること	お子さんに友達や相談相手がないこと	家族の理解を得ること	地域の理解を得ること	お子さんの将来の生活のこと	その他	無回答
17 100.0	6 35.3	0 0.0	0 0.0	3 17.6	9 52.9	11 64.7	0 0.0	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	2 11.8	2 11.8	12 70.6	1 5.9	0 0.0

(3) 相談している(したことがある)機関について

問8 お子さんのことで相談している(したことがある)機関はどこですか。(あてはまるものすべてに○印)																
全体	医療機関(リハビリ施設を含む)	保育所・幼稚園・学校	黒潮町役場	社会福祉協議会	福祉施設や作業所の職員	障害児者相談支援事業所が・くろしお	幡多福祉保健所	県立療育福祉センター	幡多児童相談所	民生委員・児童委員	身体障害者相談員、知的障害者相談員	障がい者(児)の団体	人 同じ悩みや障がいをもち	その他	相談している(した)機関はない	無回答
17 100.0	10 58.8	10 58.8	6 35.3	0 0.0	0 0.0	6 35.3	3 17.6	3 17.6	5 29.4	0 0.0	0 0.0	1 5.9	4 23.5	2 11.8	1 5.9	0 0.0

3. 福祉について

(1) 発育に関する情報提供について

問9 あなたは、お子さんの発育に関して、どのような情報の提供を望まれますか。(主なもの3つまでに○印)									
全体	子どもの情報	言語の発達についての情報	多動や他害等の問題行動に関する情報	福祉や医療、教育等の制度についての情報	育児全般に関する情報	家族支援に関する情報	地域生活に役立つ情報	その他	無回答
17 100.0	4 23.5	3 17.6	4 23.5	11 64.7	3 17.6	7 41.2	4 23.5	2 11.8	1 5.9

(2) 福祉に関する情報について

問10 あなたは、福祉に関する情報は、十分に得られていると感じますか。(1つに○印)						
全体	十分得られている	どちらかといえば十分である	あまり十分とはいえない	不十分である	わからない	無回答
17 100.0	1 5.9	6 35.3	3 17.6	3 17.6	4 23.5	0 0.0

4. 教育や放課後等のことについて

※問 11 から問 13 までは、お子さんが就学されている方に、お聞きします。
 お子さんが就学前の方は、問 14 にお進みください。

(1) 望ましい就学環境について

問11 障がいのある児童・生徒にとって、望ましい就学環境はどのようなものだと思いますか。(1つに○印)								
全体	地域やサポーターが得られる環境	地域の学校において、特別支援的	地域の学校において、特別支援的	特別な支援やサポートが受けられない環境	また、預けることで不都合が起きる環境	保護者が病気になるなど、特別な環境	その他	無回答
16 100.0	4 25.0	4 25.0	4 25.0	4 25.0	1 6.3	0 0.0	3 18.8	

(2) 教育や学校生活でさらに充実させるべき点について

問12 お子さんが受けている教育や学校生活について、さらに充実させるべき点と考える点がありますか。(主なものを3つまでに○印)													
全体	学習指導	ガイドヘルパーによる通学時の介助	スクールバスによる通学時の介助	施設や設備	生活に対する支援	教職員の理解・支援	友達との関係づくり	就労に向けた教育	課外活動	クラブ・部活動等の	その他	特にない	無回答
16 100.0	5 31.3	2 12.5	2 12.5	1 6.3	3 18.8	6 37.5	6 37.5	2 12.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	3 18.8	

(3) 放課後や夏休み等の長期休暇中の過ごし方について

問13 お子さんは、放課後や夏休み等の長期休業中はどのように過ごしていますか。														
全体	自宅で家族と過ごす	自宅以外の親族の家で過ごす	塾・習い事	クラブ活動・部活動(学校内)	放課後子ども教室で過ごす	放課後等のデイサービスを利用	一人で過ごす	公園等で遊ぶ	長期休暇支援事業を利用	短期入所・日中一時支援を利用	あつたかふれあいセンター	その他	特になにもしていない	無回答
16 100.0	8 50.0	4 25.0	1 6.3	3 18.8	2 12.5	3 18.8	4 25.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	3 18.8

問13 また、どのように過ごさせたいと思いますか。

全体	自宅で家族と過ごす	自宅以外の親族の 家で過ごす	塾・習い事	クラブ活動・部活 (学校内)	放課後子ども教室 で過ごす	放課後等のデイ サービスを利用	一人で過ごす	公園等で遊ぶ	長期休暇支援事業 を利用	短期入所・日中一 時支援を利用	あったかふれあい センター	その他	特になにもしてい ない	無回答
16 100.0	6 37.5	2 12.5	3 18.8	2 12.5	3 18.8	3 18.8	2 12.5	2 12.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	6 37.5

5. 外出について

問14 お子さんと一緒に外出する時、またはお子さんが一人で外出する時に困ったり不便に感じたりすることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

全体	付き添ってくれる人がいない	他人の視線が気になる	まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	点字ブロックが整備されていない、点字ブロック上に障がい物がある	音響式信号がない	障がい者用の駐車場が少ない	標識・表示がわかりにくい	気軽に利用できる移送手段が少ない	建物や駅等にスロープ、エレベーターがなく、利用しにくい	公共交通機関が少ない	自動車・バス・タクシー等の乗降が困難	乗り物や施設、店等の中で落ち着いて過ごすことが難しい	障がい者用のトイレが少ない	その他	特に困っていることはない	無回答
17 100.0	2 11.8	2 11.8	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	2 11.8	0 0.0	2 11.8	2 11.8	2 11.8	0 0.0	0 0.0	9 52.9	1 5.9

6. 将来の暮らしについて

問15 お子さんには、将来、どんなところで暮らしてほしいですか。(1つに○印)

全体	家族や親せきと暮らしてほしい	一人か、家族や親せきとは別に、アパートなどで暮らしてほしい	これまでの(今の)入所施設で暮らしてほしい	家の近くの入所施設で暮らしてほしい	気に入った入所施設で暮らしてほしい	グループホームや福祉ホームで暮らしてほしい	わからない(今のところ考えていない)	その他	無回答
17 100.0	4 23.5	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	7 41.2	1 5.9	1 5.9

7. 防災について

(1) 一緒に避難訓練への参加の有無について

問16 あなたは、最近1年間に、お子さんと一緒に避難訓練に参加したことがありますか。(1つに○印) ※ないと答えた方は理由をお書き下さい			
全体	ある	ない	無回答
17 100.0	11 64.7	6 35.3	0 0.0

(2) 災害発生時の避難について

問17 災害が発生した場合の避難について、あなたとお子さんが希望することは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)													
全体	しき避難 てち難情 ほん報や しと伝災 わる害情 るよう報 にが	避難時 確認の をのし してか けほし い安否	緊急時 に避難 を決め ておし	人と日 を密に してお きたい	避難支 援して おくれ るあ	避難誘 導の特 性にあ つた	障がい のお誘 導の方 法を知 った	力等を 確保し ておい てほし い	ストレ ッチャ ーやタ ン	訓練に 参加し たいの 避難	その他	特にな い	無回 答
17 100.0	12 70.6	9 52.9	2 11.8	2 11.8	5 29.4	1 5.9	5 29.4	1 5.9	0 0.0	1 5.9			

(3) 災害発生時の避難場所で支援を希望することについて

問18 災害が発生した場合、避難場所について、あなたとお子さんにとって、支援してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)													
全体	リ段差 アフリ ーに して ほしい	備避難 所に 多目 的ト イレ を整 え	人工透 析や 在宅 酸素 等の 専門 医	健康管 理の ため に、 障が いに 関し た支 援	必要薬 品、 車い す等 を提 供	手話等 、コ ミュ ニケ ーシ ョン	ブラ イバ シー を守 る対 策を 充 つ	大勢 の中 で一 緒に 過ご すこ と	障が いの 特性 にあ つた スベ ー	最初 から 、障 がい 児者 だけ の 避難 場所 (福 祉避 難所)で 過 ごし たい	その他	特にな い	無回 答
17 100.0	2 11.8	6 35.3	0 0.0	5 29.4	4 23.5	0 0.0	4 23.5	8 47.1	8 47.1	2 11.8	0 0.0	2 11.8	0 0.0

8. 福祉サービスや支援について

(1) 福祉サービスの利用状況

問19 お子さんは、現在、福祉サービスを利用していますか。(1つに○印)			
全体	利用している	利用していない	無回答
17 100.0	4 23.5	12 70.6	1 5.9

(2) 現在利用している福祉サービスについて

問20 現在利用されている福祉サービスについて、あてはまるものに○を記入してください。(複数回答可)								
全体	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	短期入所(ショートステイ)	日中一時支援	その他	無回答
17 100.0	1 5.9	1 5.9	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 70.6

(3) サービス1か月あたりの利用日数について

①児童発達支援

問20 また、そのサービスをどれくらい利用されているかお答えください。①児童発達支援			
全体	2日	無回答	平均
1 100.0	1 100.0	0 0.0	2.0

②医療型児童発達支援

問20 また、そのサービスをどれくらい利用されているかお答えください。②医療型児童発達支援			
全体	2日	無回答	平均
1 100.0	1 100.0	0 0.0	2.0

③放課後等デイサービス

問20 また、そのサービスをどれくらい利用されているかお答えください。③放課後等デイサービス					
全体	2日	10日	23日	無回答	平均
3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	11.7

(4) 今後利用したい(してみたい)福祉サービスについて

問21 今後、利用したい(してみたい)福祉サービスについて、あてはまるものに○を記入してください。(複数回答可)																			
全体	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	短期入所(ショートステイ)	日中一時支援	移動支援(ガイドヘルプ)	コミュニケーション支援	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	地域活動支援センター	福祉型障害児入所支援	医療型障害児入所支援	その他	無回答
17 100.0	1 5.9	1 5.9	6 35.3	1 5.9	0 0.0	1 5.9	5 29.4	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 35.3

(5) 必要だと思うことや支援について

問22 次の項目の中で、必要だと思うことや必要だと思う支援は何ですか。あてはまるものに○をしてください。(複数回答可)															
全体	障がいの早期発見・早期療育の仕組みづくり	就学前から学校卒業まで、一貫して継続した支援の仕組みづくり	院内学級と学校(原籍校)との連携による支援	保育士等の加配	加配保育士や学校教職員の資質向上	身近な相談窓口の整備	保護者や子ども同士の交流の場づくり	通学や通園の援助	放課後の見守り(学童保育など)支援	夏休みなどの長期休暇中の支援	身近な場所で短期入所や日中一時支援などが受けられる	身近な場所で専門的な療育支援が受けられる	地域住民の理解や支え合う仕組みづくり	その他	無回答
17 100.0	10 58.8	8 47.1	1 5.9	6 35.3	10 58.8	3 17.6	3 17.6	4 23.5	6 35.3	8 47.1	4 23.5	11 64.7	4 23.5	0 0.0	2 11.8

(6) 障がい児支援サービスへの参加・利用したいものについて

問23 上記福祉サービスの他に障がい児支援について高知県や黒潮町では下記の内容を実施（または予定）しています。参加・利用したいものに○をつけてください。（複数回答可）								
全体	くろしおつこなかまの会	長期休暇支援事業	ペアレントトレーニング	バツイスを行う。	専門家が保育所や学校の訪問	つながるノート	特にない	無回答
17 100.0	6 35.3	7 41.2	7 41.2	9 52.9	8 47.1	4 23.5	2 11.8	

(7) 黒潮町は暮らしやすいまちだと思うかについて

問24 あなたは、障がいのある子どもと保護者にとって、黒潮町は暮らしやすいまちだと思いますか。（1つに○印）					
全体	とても暮らしやすい	どちらかといえは暮らしやすい	どちらかといえは暮らしにくい	暮らしにくい	無回答
17 100.0	1 5.9	11 64.7	3 17.6	1 5.9	1 5.9

(8) 暮らしやすいまちにするために必要な支援やサービスについて

問25 あなたは、今後黒潮町を暮らしやすいまちにするために、どのような支援やサービス（仕組み）が必要だと思いますか。（主なものの3つまでに○印）

全体	年金・手当などの所得補償の充実	医療費負担の軽減	障がいのある方に対する理解を深めるための啓発	障がいのある方の働く場所の確保	障がいのある方への職業紹介の充実	と（長く働けるための支援）（雇用継続の支援）があること	能力に応じた職業訓練の実施	障がいのある方に配慮したバリアフリー化の推進	建物や交通機関、道路など、障がいのある方に配慮したバリアフリー化の推進	気軽に何でも相談できる窓口の充実	障がいのある方の災害対策の充実	公共交通機関の運賃の割引	障がいのある人が住みやすい環境の整備	いつでも自由に行き来できる場所の確保（遊歩道）		
17 100.0	6 35.3	6 35.3	3 17.6	8 47.1	1 5.9	3 17.6	1 5.9	0 0.0	3 17.6	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9		
ビ域 スの の充 実	ホー ムヘル プサ ービス など の充 実	グ ル ー プ ホ ー ム な ど 同 じ 障 が い の 充 実	サ ー ビ ス の 充 実	介 助 者 が 休 養 で き る よ う な サ ー ビ ス の 充 実	な い ろ い ろ な 活 動 （ 趣 味 や 交 流 ） の 充 実	ボ ラ ン テ ィ ア の 育 成	の 障 が い の 取 り 組 み の 充 実	障 が い の 取 り 組 み の 充 実	障 が い の 取 り 組 み の 充 実	の 普 導 犬 、 聴 導 犬 、 介 助 犬 な ど の 推 進	進 リ エ ー シ ョ ン 、 文 化 活 動 の 推 進	の 権 利 擁 護 の た め の 制 度 ・ 基 盤 の 整 備	す る 事 成 年 後 見 制 度 を 利 用 し や す く	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
0 0.0	1 5.9	0 0.0	2 11.8	0 0.0	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9	0 0.0	0 0.0		

9. ご家族や保護者のことについて

(1) お子さんが現在一緒に暮らしている方について

問26 お子さんは、現在、誰と一緒に暮らしていますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるものすべてに○印）

全体	父親	母親	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
17 100.0	16 94.1	17 100.0	6 35.3	12 70.6	0 0.0	0 0.0

(2) ふだん主にお子さんをみている方について

問27 ふだん、主にお子さんをみているのはどなたですか。（1つに○印）

全体	父親	母親	祖父母	その他	無回答
17 100.0	1 5.9	14 82.4	2 11.8	0 0.0	0 0.0

問27-1 問27で「1. 父親」「2. 母親」「3. 祖父母」に○をつけた方に、お聞きします。 主にお子さんをみている方の就労状況を教えてください。（1つに○印）							
全体	就労している （正規）	嘱託・ 就労している （契約・ 等）	アルバイト・ パート	に、以前は就労して いたため	が、子どもをみ ていたため	し、就労 していない・ 就労	無 回 答
17 100.0	6 35.3	3 17.6	6 35.3	0 0.0	2 11.8	0 0.0	

	問28 ふだん、主にお子さんをみている方について、次のうちあてはまるものは何ですか。（各項目ごとに1つに○印）				
	全体	大いに ある	多少 ある	ない	無 回 答
(1) 医療費や交通費等の経済的負担が大きい	17 100.0	3 17.6	7 41.2	5 29.4	2 11.8
(2) 福祉サービスの負担（手続や利用料）が大きい	17 100.0	1 5.9	5 29.4	9 52.9	2 11.8
(3) 仕事をしたいが、できない	17 100.0	0 0.0	2 11.8	13 76.5	2 11.8
(4) 目を離せないので、家事ができない	17 100.0	0 0.0	2 11.8	13 76.5	2 11.8
(5) 自由に外出できない	17 100.0	0 0.0	4 23.5	11 64.7	2 11.8
(6) 自分の時間が持てない	17 100.0	3 17.6	2 11.8	10 58.8	2 11.8
(7) 心身ともに疲れる	17 100.0	1 5.9	8 47.1	6 35.3	2 11.8
(8) 将来の見通しがたてられない	17 100.0	1 5.9	9 52.9	5 29.4	2 11.8
(9) 自分の健康について不安がある	17 100.0	3 17.6	6 35.3	6 35.3	2 11.8
(10) 子どもの預け先がなくて、困る	17 100.0	2 11.8	3 17.6	10 58.8	2 11.8
(11) たまにリフレッシュをするために、一時的に子どもを預かってくれるサービスがほしい	17 100.0	2 11.8	4 23.5	9 52.9	2 11.8
(12) 療育や医療を受ける場が近くにない（社会的に自立できるように取り組む治療と教育）	17 100.0	6 35.3	4 23.5	5 29.4	2 11.8